

| 作成者－現場ビューア |

【作成者】現場ビューア画面の説明

2023年5月29日公開

現場ビューアの画面について説明します。

目次

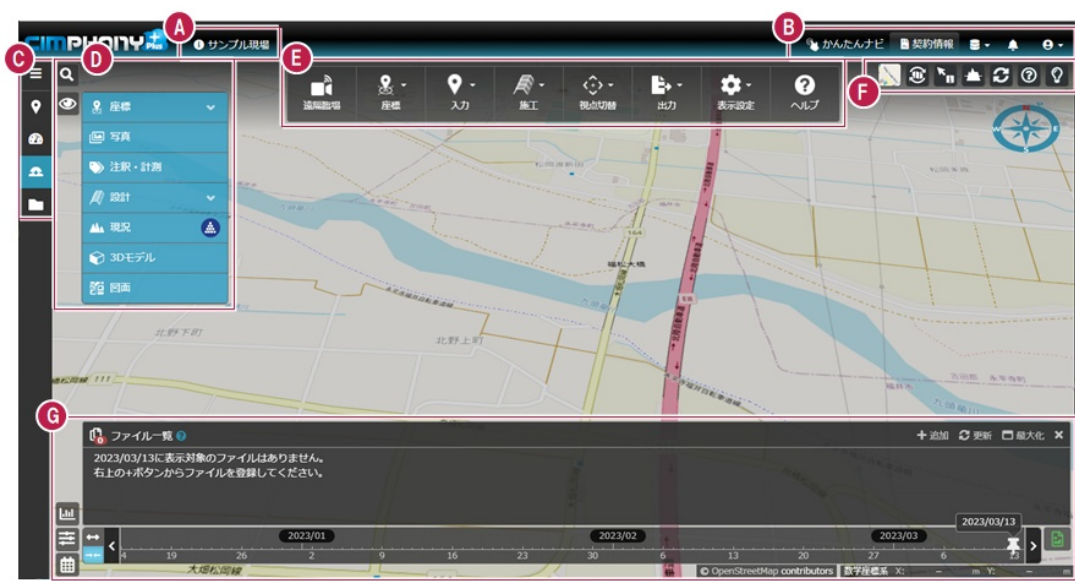
- ・ 現場ビューアを表示する
- ・ 現場ビューア画面の説明

現場ビューアを表示する

1.現場に入り、「現場ビューア」を選択します。



現場ビューア画面の説明

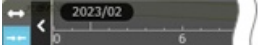


①	現場名	現場情報を表示します。
②	かんたんナビ	かんたんナビを表示します。 ファイル追加、ファイル管理などを行えます。 ・ 【作成者】ファイルを登録する
	契約情報	契約情報を確認します。 契約者の場合に表示されます。 ・ 契約内容を確認する ・ 契約現場一覧を確認する ・ 現場作成権限を設定する ・ 現場参加者を除名する
	ストレージ使用量 	ストレージ使用量を表示します。 契約者、現場作成者の場合に表示されます。
	お知らせ 	お知らせを表示します。
	ユーザーボタン 	ユーザー情報の確認などを行います。 ・ ユーザー情報を変更する ・ メール通知を設定する ・ グループの管理 ・ マニュアルを確認する

		・ 更新情報を確認する ・ サポートアクセスを許可する/解除する ・ CIMPHONY Plusからログアウトする
 メニューボタン 		[現場管理] 現場管理に移動します。 [ダッシュボード] ダッシュボードに移動します。 ※休止現場の場合は非表示になります。 [現場ビューア] 現場ビューアに移動します。 ※休止現場の場合は非表示になります。 [ファイル管理] ファイル管理に移動します。 [最近利用した現場] 最近利用した現場が表示されます。 クリックして現場を切り替えます。 ※休止現場は表示されません。
	現場管理 	現場管理に移動します。 ・ 現場管理画面の説明
	ダッシュボード 	ダッシュボードに移動します。 ※休止現場の場合は非表示になります。 ・ ダッシュボード画面の説明
	現場ビューア 	現場ビューアに移動します。 ※休止現場の場合は非表示になります。
	ファイル管理 	ファイル管理に移動します。 ・ 【作成者】ファイル管理画面の説明
 検索 		条件を指定して、該当するファイルや計測、注釈を現場ビューアに表示します。 ・ 【作成者】データを検索する

	表示切替 	現場ビューアに表示されている要素の表示/非表示を切り替えます。 ・ 【作成者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える
①	遠隔臨場	CIMPHONY Plusと連携した機器を管理します。 ・ 【作成者】遠隔臨場を行う
	座標	座標ファイルから座標を読み込み、現場ビューアに配置します。 ・ 【作成者】座標点を配置する ・ 【作成者】座標点の表示設定を行う
	入力	地図上で各種計測や図形配置します。 表示期間を設定することもできます。 ・ 【作成者】距離を計測する ・ 【作成者】面積を計測する ・ 【作成者】体積を計測する (3D) ・ 【作成者】注釈-マーカーを配置する ・ 【作成者】注釈-テキストを配置する ・ 【作成者】注釈-ファイルを配置する ・ 【作成者】注釈-動画を配置する ・ 【作成者】計測や注釈を編集する ・ 【作成者】計測や注釈を削除する
	施工 (3D)	現在表示されている設計・点群データの断面や他の点群データとの標高差や作業状況を確認します。 ・ 【作成者】管理断面を確認する (3D) ・ 【作成者】任意断面を確認する (3D) ・ 【作成者】現況データを比較する (3D) ・ 【作成者】土量進捗を確認する (3D) ・ 【作成者】カラーバーを編集する (3D)
	視点切替	視点位置を指定した方向へ移動します。 視点を登録することもできます。 ・ 【作成者】視点を切り替える
	出力	現在の視点位置からの画像をキャプチャします。 アカウントをお持ちでない方に期間限定で現場ビュー

		アを公開するURLを発行することもできます。 ・ 【作成者】現場ビューアの画像を出力する ・ 【作成者】現場共有URLを発行する
	表示設定	図面の濃淡などを変更します。 ・ 【作成者】点群の表示設定を行う (3D) ・ 【作成者】図面の表示設定を行う ・ 【作成者】3Dデータの標高を補正する (3D)
	ヘルプ	現場ビューアの各コマンドの概要を表示します。
Ⓕ	地図の切り替え 	背景の地図の種類を選択します。 ・ 地図を切り替える
	背景の表示/非表示 	現場ビューアの背景に表示される地図の表示/非表示を切り替えます。 ・ 【作成者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える
	ファイル情報表示/非表示  ※タブレット端末では表示されません。	表示  設計 (3D) 、点群 (3D) 、3Dモデル (3D) 、図面、オルソ画像の上にマウスを移動した時に、マウスポインター右下にファイル情報（ファイル種別、ファイル名、登録・測量日時・登録者）を表示します。 非表示  ファイル情報を表示しません。
	地中のデータ表示/非表示 (3D) 	地中のデータの表示/非表示を切り替えます。 ・ 【作成者】地中のデータの表示/非表示を切り替える (3D)
	更新 	現場ビューアを最新の状態に更新します。
	操作ヘルプ 	画面操作の方法を表示します。
	画面の説明 	画面の説明を表示します。
Ⓖ	進捗チャート (3D) 	盛土、切土の進捗率を確認します。 ・ 【作成者】土量進捗を確認する (3D)

	表示期間設定 	オルソ画像、3Dモデル (3D) 、点群 (3D) の表示期間を設定します。 ・ 【作成者】オルソ画像の表示期間を設定する ・ 【作成者】3Dモデルの表示期間を設定する (3D) ・ 【作成者】点群の表示期間を設定する (3D)
	カレンダーから選択 	カレンダーから日付を選択します。 ・ 【作成者】タイムライン-日付選択
	ファイル一覧	タイムラインで選択した日付に登録されているファイルを表示します。 ・ 【作成者】ファイル一覧について ・ 【作成者】ファイルを確認する
	タイムライン 	登録データを時系列順に確認できます。 日付を選択すると、登録データがファイル一覧や現場ビューアに表示されます。 ・ 【作成者】タイムライン-日付選択 ・ 【作成者】タイムライン-表示期間の切り替え
	モード切り替え (3D)  /  / 	現場ビューアのモードを切り替えます。  : 共有ファイル  : 点群データ  : 出来形データ ・ 【作成者】出来形データ画面の説明 (3D)
	座標情報	座標系とマウス位置の座標値が表示されます。 数学座標系 X: 24868.841 m Y: 11147.213 m ・ 座標値が「-9999999.999」～「+9999999.999」の範囲外の場合、座標値は表示されません。 ・ タブレット端末の場合、最後にタップした位置の座標値が表示されます。

| 【作成者】 現場ビューア |

【作成者】 ファイルを登録する

2024年3月19日更新

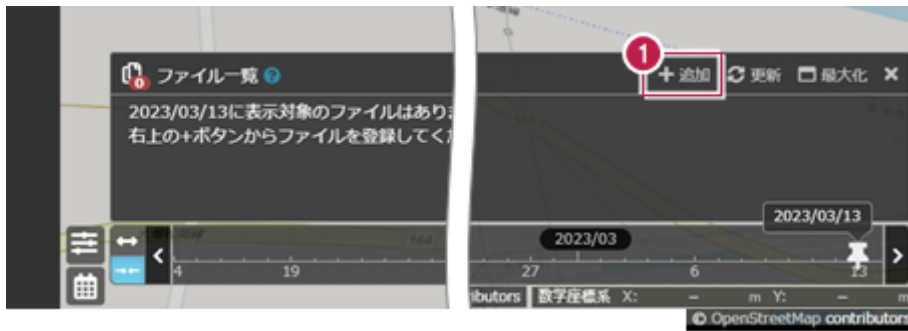
現場ビューアで写真や書類などのファイルを登録します。
ファイル一覧から登録する方法と、かんたんナビから登録する方法があります。

目次

- ・ ファイル一覧から登録する
- ・ かんたんナビから登録する

ファイル一覧から登録する

1. ファイル一覧の [追加] をクリックします。



ファイル一覧が表示されていない場合は、画面右下の「ファイル一覧」をクリックして表示してください。



2. 「クリックしてファイル参照」 をクリックします。

※枠内にファイルをドラッグ&ドロップして追加することもできます。

※枠内にフォルダーをドラッグ&ドロップしてフォルダー内のファイルを追加することもできます。



3. アップロードするファイルを選択します。

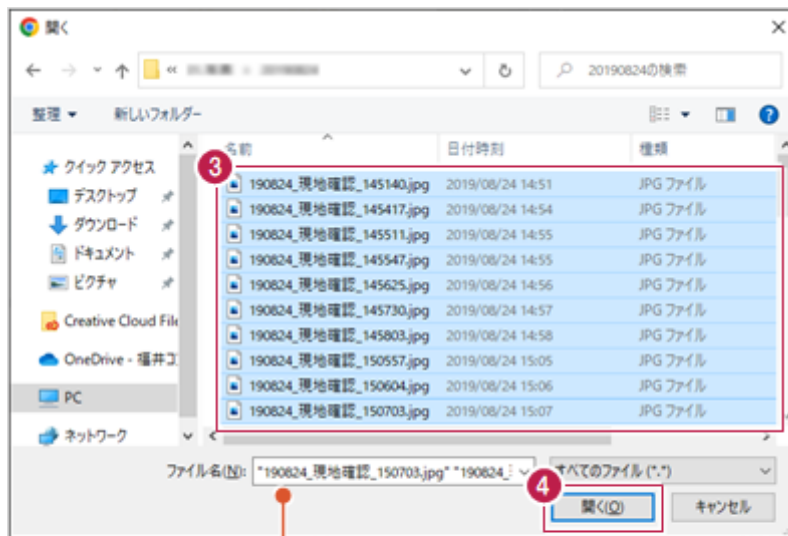
※複数のファイルを選択できます。

4. 「開く」 をクリックします。

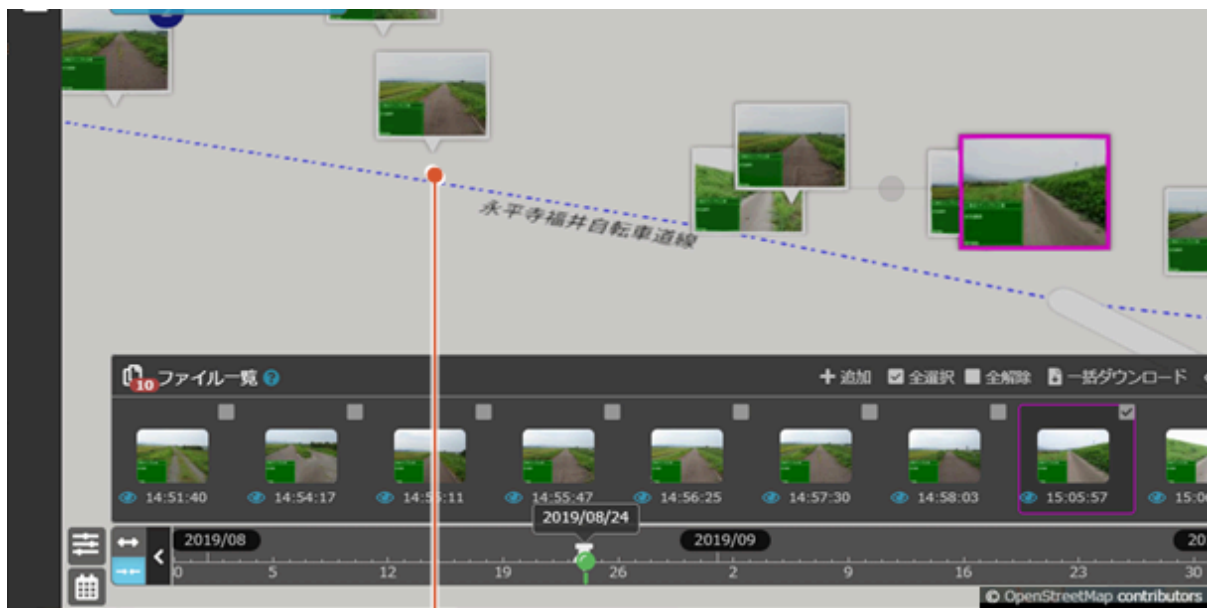
ファイル一覧や現場ビューに登録したファイルが表示されます。

※位置情報がある写真は、現場ビューの該当する位置に表示されます。

位置情報がない写真やPDFなどの書類は、現場ビューアに表示されません。
※追加したファイルは、ファイル管理の「共有」フォルダーに登録されます。



「動画」コマンドに対応するファイルの拡張子は「mp4」「webm」です。



現場ビューアの写真をクリックすると、ファイル情報が表示されます。
ファイル情報の詳細は、「【作成者】ファイルを確認する」を参照してください。
現場ビューアの写真をダブルクリックすると、ファイル情報と専用ビューアが起動します。
専用ビューアの詳細は、「画像・動画・PDFビューア」「パノラマビューア」を参照してください。

《補足》 アップロード後にファイル一覧や現場ビューアにファイルが表示されない場合

タイムラインで、ファイルが登録されている日付の緑色のピンをクリックして表示してください。

※撮影情報を持った写真は「撮影日」の日付に登録されます。

（工期外の写真は表示できません。）

※撮影情報を持っていない写真やPDFなどの書類、動画は本日の日付に登録されます。



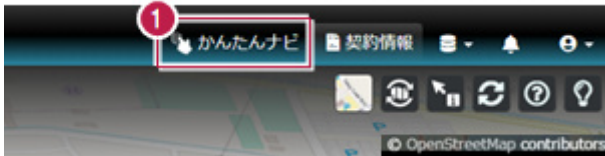
《3D補足》3D専用ファイルを登録する

3D専用ファイルは、[かんたんナビ] から登録、またはファイル管理の各3D専用フォルダーにファイルを追加してください。

[かんたんナビ] での登録方法は「[かんたんナビから登録する](#)」、ファイル管理での登録方法は「[【作成者】ファイルを追加する](#)」を参照してください。

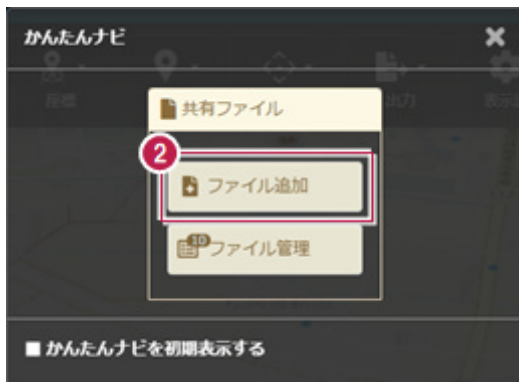
かんたんナビから登録する

1.画面右上の「かんたんナビ」をクリックします。



2. 「ファイル追加」をクリックします。

以降の操作は、「[ファイル一覧から登録する](#)」の手順2以降を参照してください。



《3D補足》 3D現場の場合

以下のように表示されます。



■設計データ（LandXML、基本設計データ）登録

設計データは、ファイル管理の「設計」フォルダーに登録されます。

対応するファイルの拡張子は、「xml」です。

※基本設計データの対象バージョンはVer.4、Ver.4.1です。



【データ種別】

登録するデータの種別を選択します。

「LandXML」の場合は、「三角網」「中心線形」「測点名」「横断線」が表示対象です。

「基本設計データ」の場合は、「中心線形」「測点名」「横断線」が表示対象です。

【進捗計算】

進捗計算に使用する場合は「使用する」をオンにします。

「現場ビューア」の「表示する」は自動でオンになります。

※進捗計算用に設定できる設計データは1つのみです。

※「使用する」をオンにすると、点群データが再計算される場合があります。
設計ファイル取り込み後、「点群」フォルダーでデータの処理状況を確認してください。

※「データ種別」で「基本設計データ」を選択している場合は、オフになります。

（基本設計データは進捗計算に使用できません。）

【現場ビューア】

現場ビューアに表示する場合は「表示する」をオンにします。

「進捗計算」がオフの時に設定できます。

【変更履歴コメント】

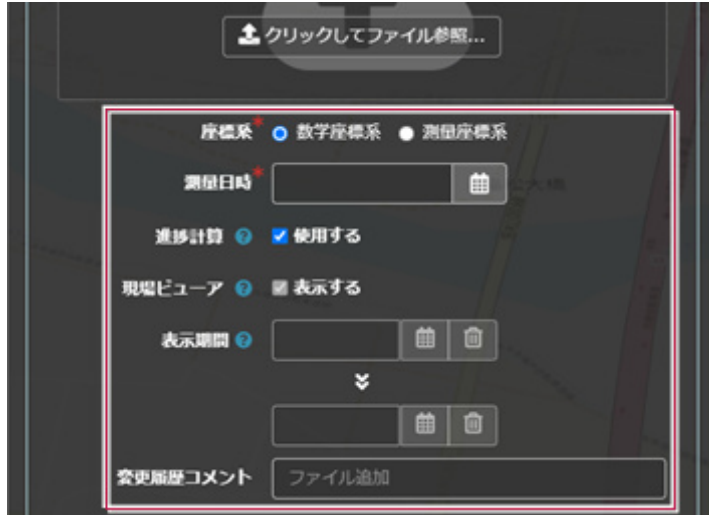
変更履歴コメントを入力します。

入力内容はファイル情報や履歴で確認できます。

■点群データ登録

点群データは、ファイル管理の「点群」フォルダーに登録されます。

対応するファイルの拡張子は、「txt」「csv」「asc」「xyz」「las」「laz」「e57」です。



【座標系】

登録するファイルの座標系を選択します。

【測量日時】

測量日時を設定します。

現場の工期内が選択可能です。

【進捗計算】

進捗計算に使用する場合は「使用する」をオンにします。

「現場ビューア」の「表示する」は自動でオンになります。

進捗計算用点群データが複数ある場合、「表示期間」は「測量日時」に合わせて自動で設定されます。



【現場ビューア】

現場ビューアに表示する場合は「表示する」をオンにします。

「進捗計算」がオフの時に設定できます。

【表示期間】

現場ビューアに表示する期間を設定します。

「進捗計算」がオフの時に設定できます。

工事の全期間表示する場合は、右側の「選択クリア」をクリックして空欄にしてください。

【変更履歴コメント】

変更履歴コメントを入力します。

入力内容はファイル情報や履歴で確認できます。

《3D補足》 点群ファイルのアップロード後に現場ビューアに表示されない場合

点群データは、データ変換と進捗計算の処理が完了後、現場ビューアに反映されます。

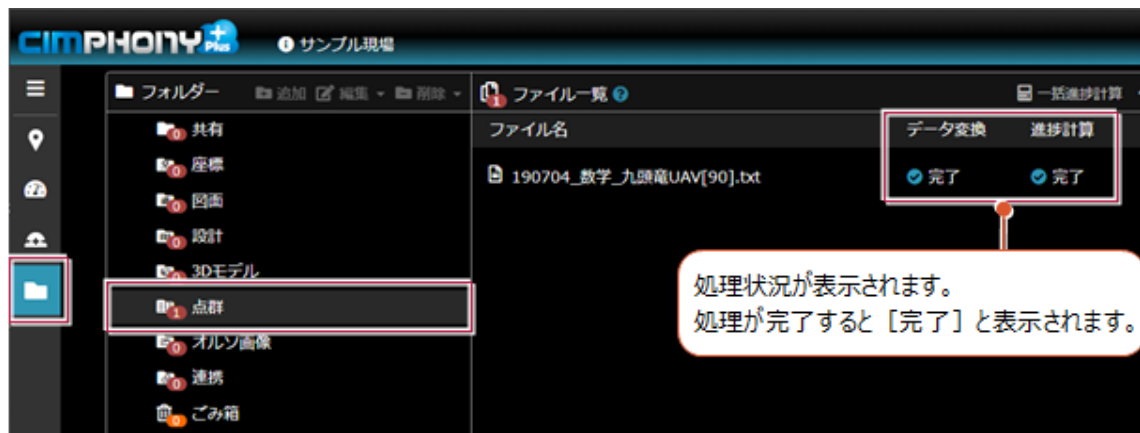
現場ビューア右上の「更新」をクリックして、最新の状態に更新してください。



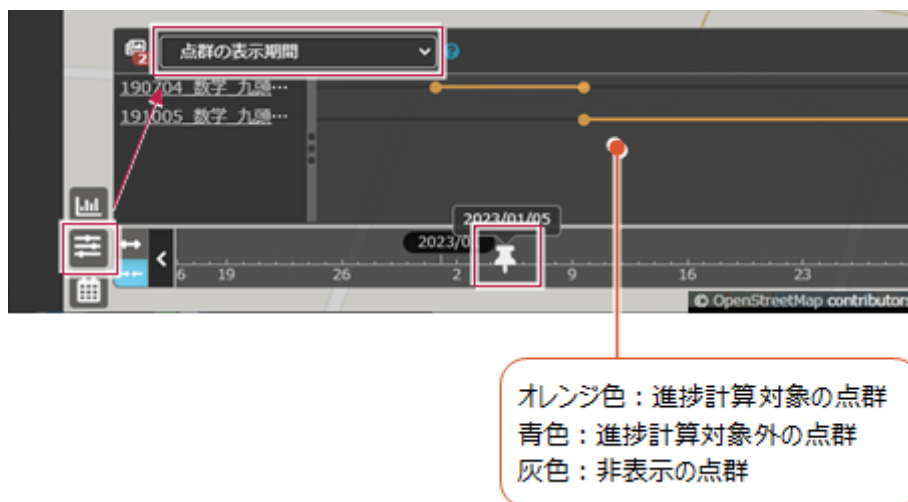
「更新」をクリックしても表示されない場合は、ファイル管理の「点群」フォルダーで「データ変換」と「進捗計算」が「完了」になっているか確認してください。

い。

(進捗計算対象外の点群データの場合は、[進捗計算] に [対象外] と表示されます。)



[完了] になっていても現場ビューアに表示されない場合は、[点群の表示期間] を表示し、タイムラインで点群の表示期間の日付をクリックして選択してください。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】タイムライン-日付選択

2023年5月29日更新

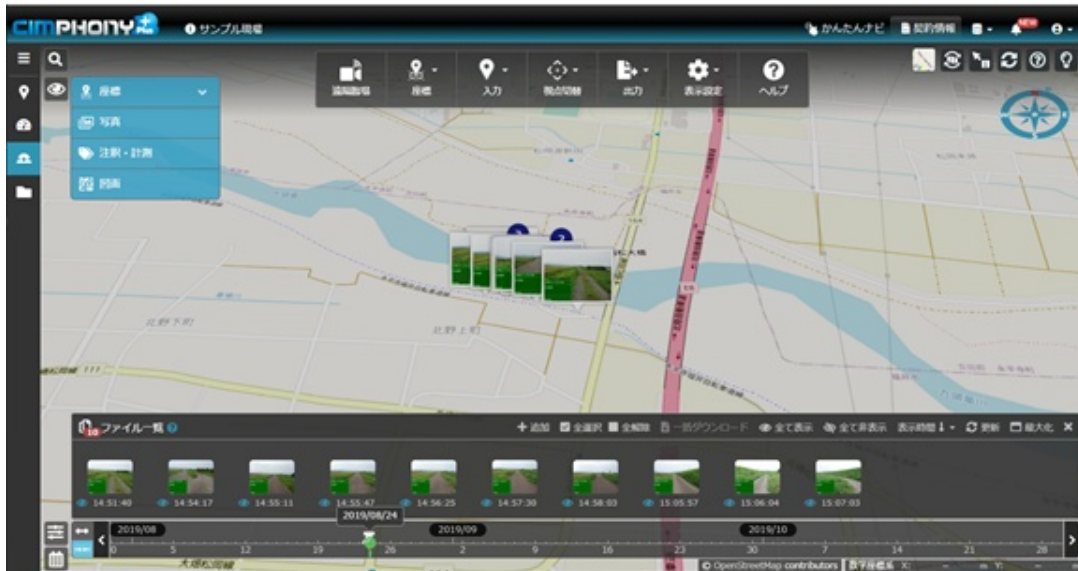
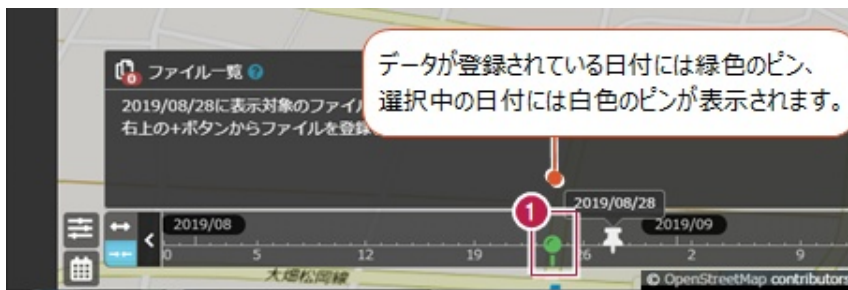
タイムラインでは登録データを時系列順に確認できます。
日付を選択すると、登録データがファイル一覧や現場ビューアに表示されます。
日付の選択は、タイムラインから選択する方法とカレンダーから選択する方法があります。

目次

- ・ タイムラインから日付を選択する
- ・ カレンダーから日付を選択する

タイムラインから日付を選択する

1. タイムラインで、確認したい日付をクリックして選択します。
登録データがファイル一覧や現場ビューアに表示されます。



《3D補足》進捗計算用点群データの測量日時を確認する

タイムライン右側のモード切り替えボタンで「点群データ」を選択すると、点群データ登録時に設定した「測量日時」にオレンジ色のピンが表示されます。
 （進捗計算対象外の点群データの「測量日時」にはピンは表示されません。）
 タイムラインで日付を選択すると、選択した日付の直前に登録されている点群データが現場ビューアに表示されます。



※ピンの上にマウスを移動して「点群ビューア」をクリックすると、点群ビューアが起動します。

点群ビューアの詳細は、「[点群ビューア](#)」を参照してください。



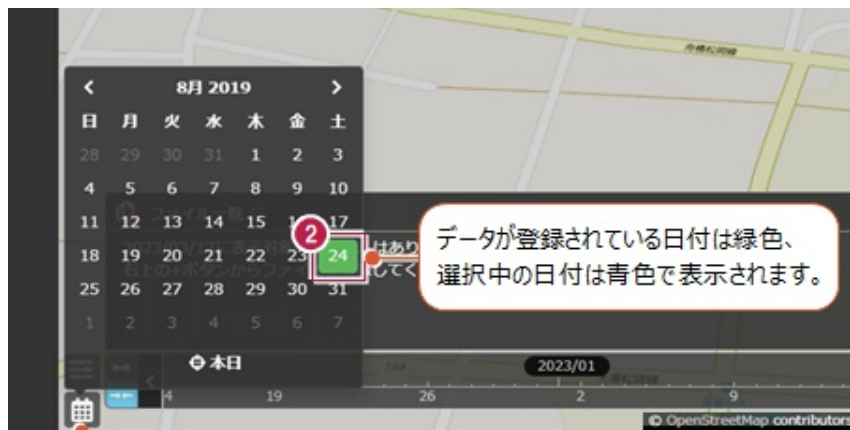
カレンダーから日付を選択する

1.画面左下の「カレンダーから選択」をクリックします。

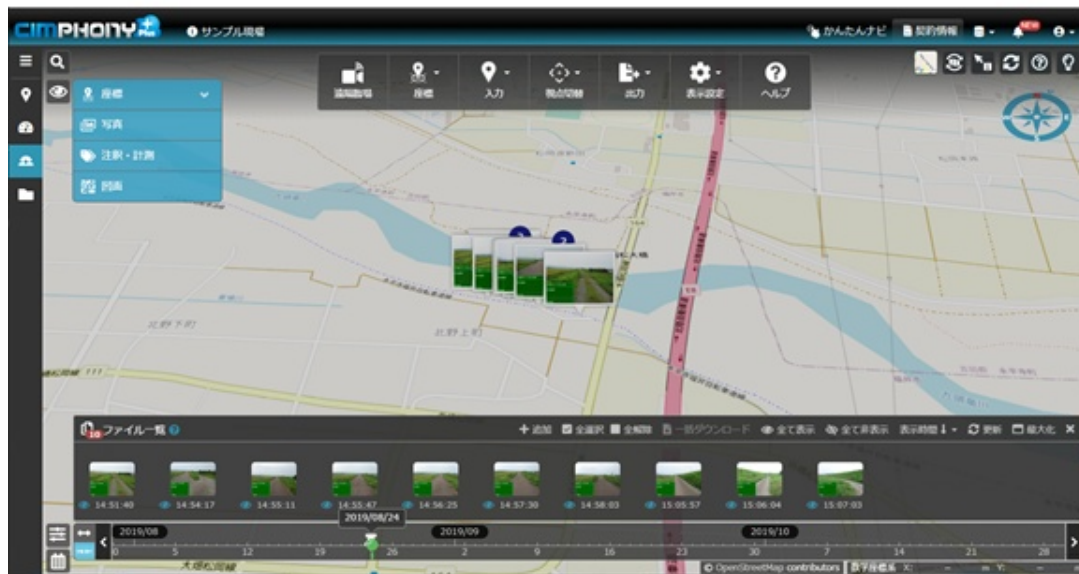


2.確認したい日付をクリックして選択します。

登録データがファイル一覧や現場ビューアに表示されます。



カレンダーを閉じる場合は、再度クリックしてください。



《3D補足》進捗計算用点群データの場合

モード切り替えボタンで「点群データ」を選択している場合、進捗計算用点群データの「測量日時」はオレンジ色で表示されます。

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20

| 作成者－現場ビューア |

【作成者】タイムライン-表示期間の切り替え

2023年5月29日更新

タイムラインの表示期間は「全期間」と「3か月間」から選択します。

全期間を表示する

- 1.画面左下の「全期間」を選択します。
工期の全期間が表示されます。



3か月間を表示する

- 1.画面左下の「3か月間」を選択します。
タイムラインで選択中の日付を含む3か月間が表示されます。



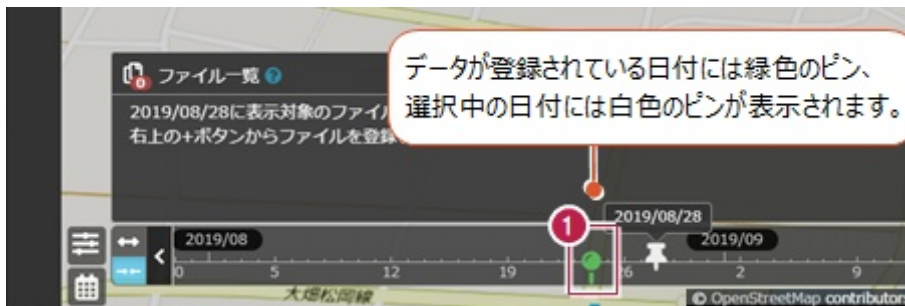
| 作成者－現場ビューア |

【作成者】 ファイルを確認する

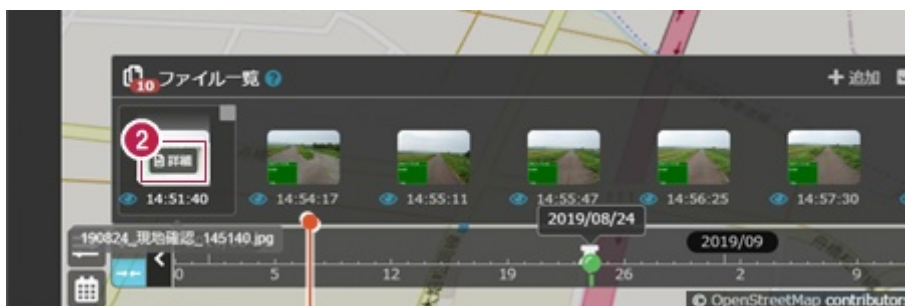
2023年5月29日更新

現場ビューアで写真や書類などのファイルを確認します。

1. タイムラインで緑色のピンをクリックします。
ファイル一覧や現場ビューアにファイルが表示されます。



2. ファイル一覧のファイルの上にマウスを移動して、[詳細] をクリックします。
ファイル情報が表示されます。





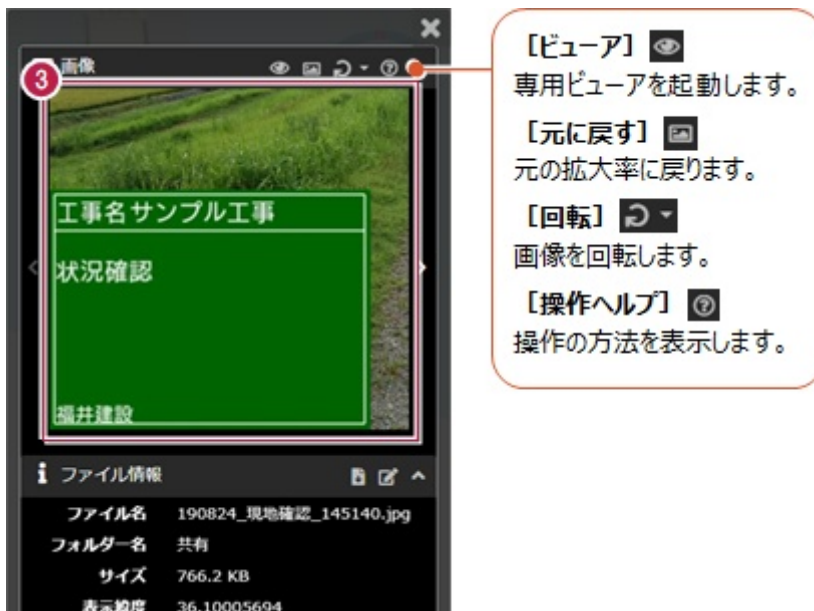
各ファイルが保持している情報が表示されます。

電子小黒板付きデジタル工事写真の場合
画像、ファイル情報、Exif情報、写真情報

JPEGなどの画像ファイルの場合
画像、ファイル情報、Exif情報

PDFやExcel、動画などのファイルの場合
ファイル情報

3.画像の上でマウスホイールを転がすと、拡大・縮小します。
拡大表示中は左ボタンドラッグや右ボタンドラッグで移動できます。



4. 画像の左右の矢印をクリックすると、次の写真、前の写真に移動します。



5. [×] をクリックして、ファイル情報を閉じます。



※ファイル情報の編集については、「[【作成者】ファイル情報を編集する](#)」を参照してください。

| 作成者 - 現場ビューア |

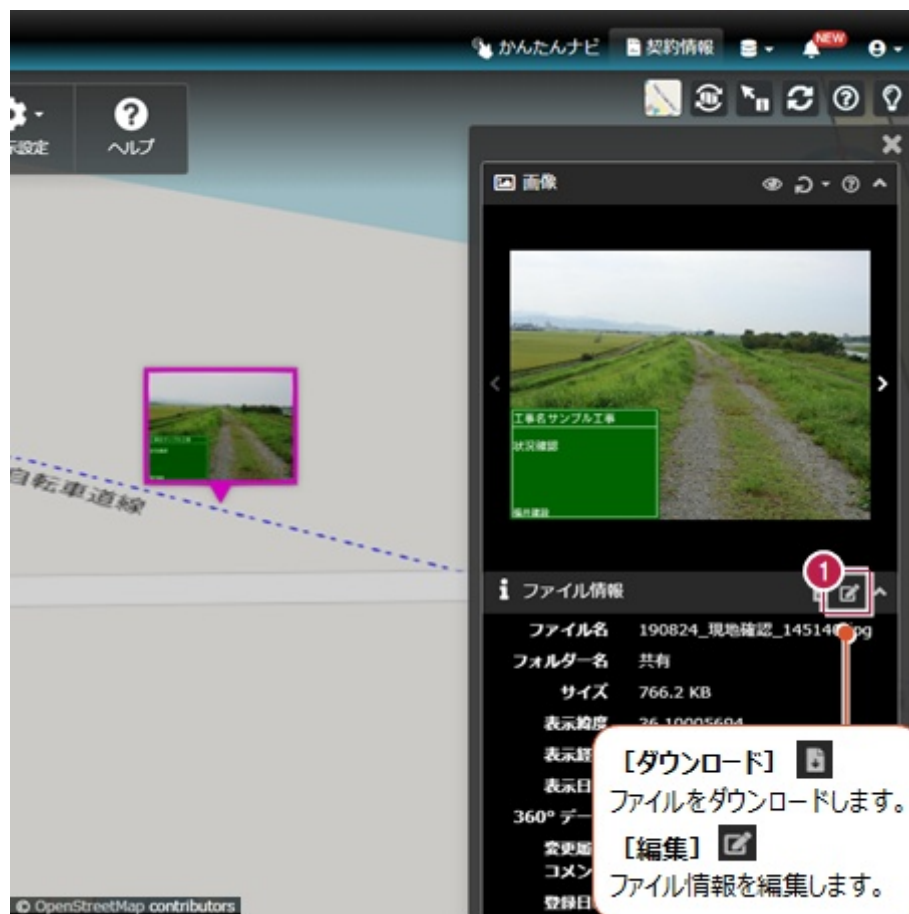
【作成者】ファイル情報を編集する

2023年5月29日更新

現場ビューアでファイル名や表示位置、表示日時を変更します。

1. ファイル情報を表示して、[編集] をクリックします。

※ファイル情報の表示方法は、「[【作成者】ファイルを確認する](#)」を参照してください。

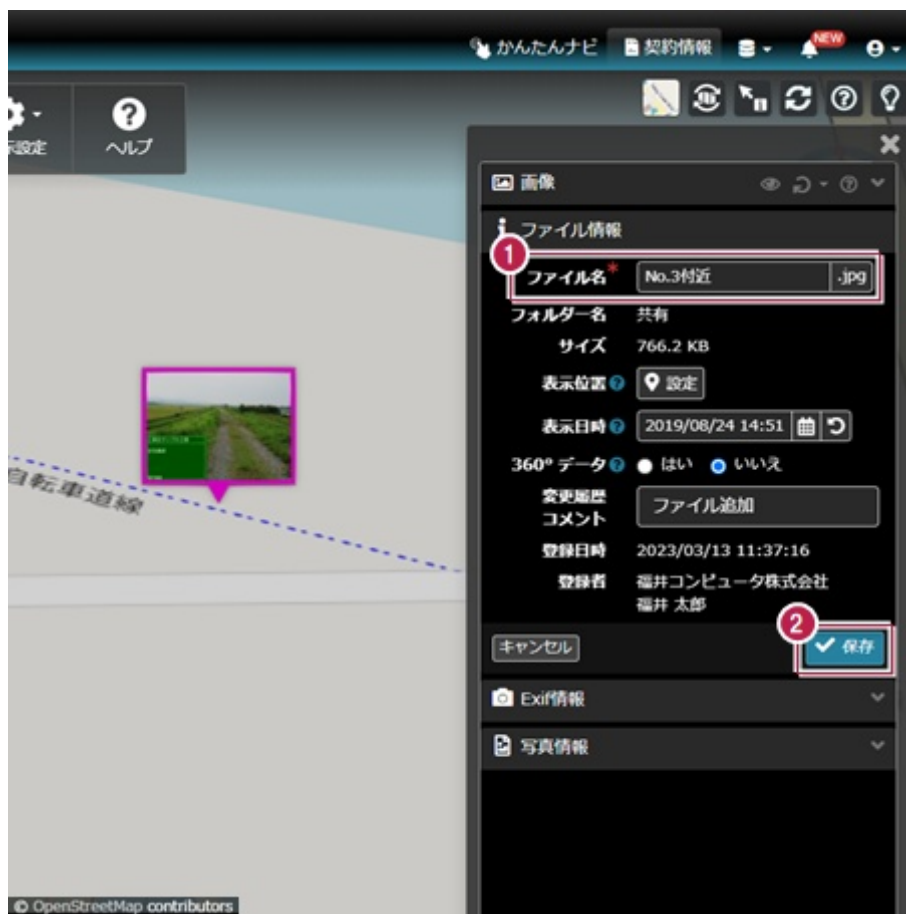


目次

- ・ ファイル名を変更する
- ・ 表示位置を変更する
- ・ 表示日時を変更する

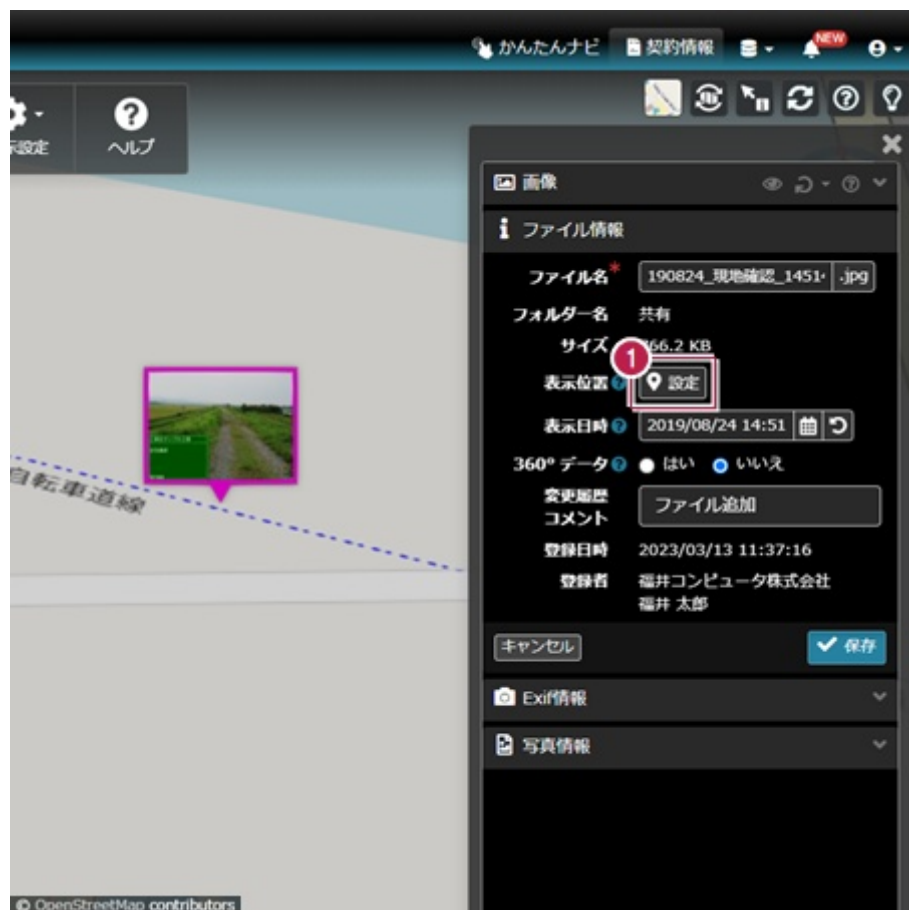
ファイル名を変更する

1. [ファイル名] を入力します。
2. [保存] をクリックします。

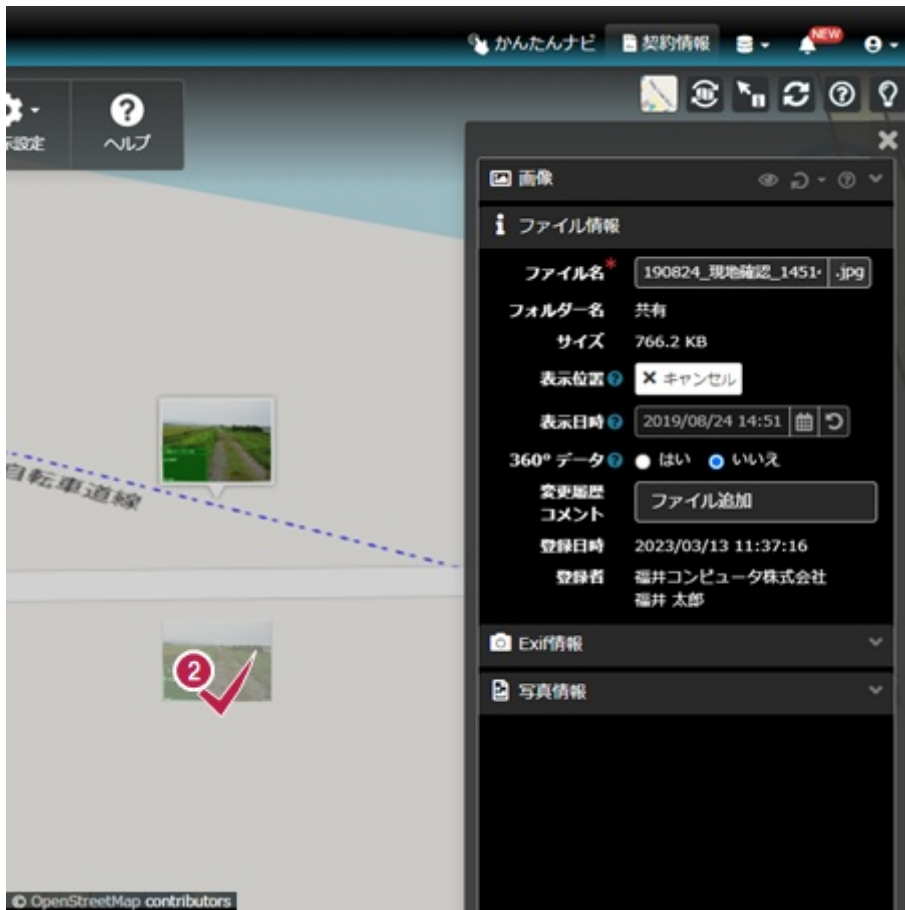


表示位置を変更する

1. [表示位置] の [設定] をクリックします。



2. 表示位置をクリックします。

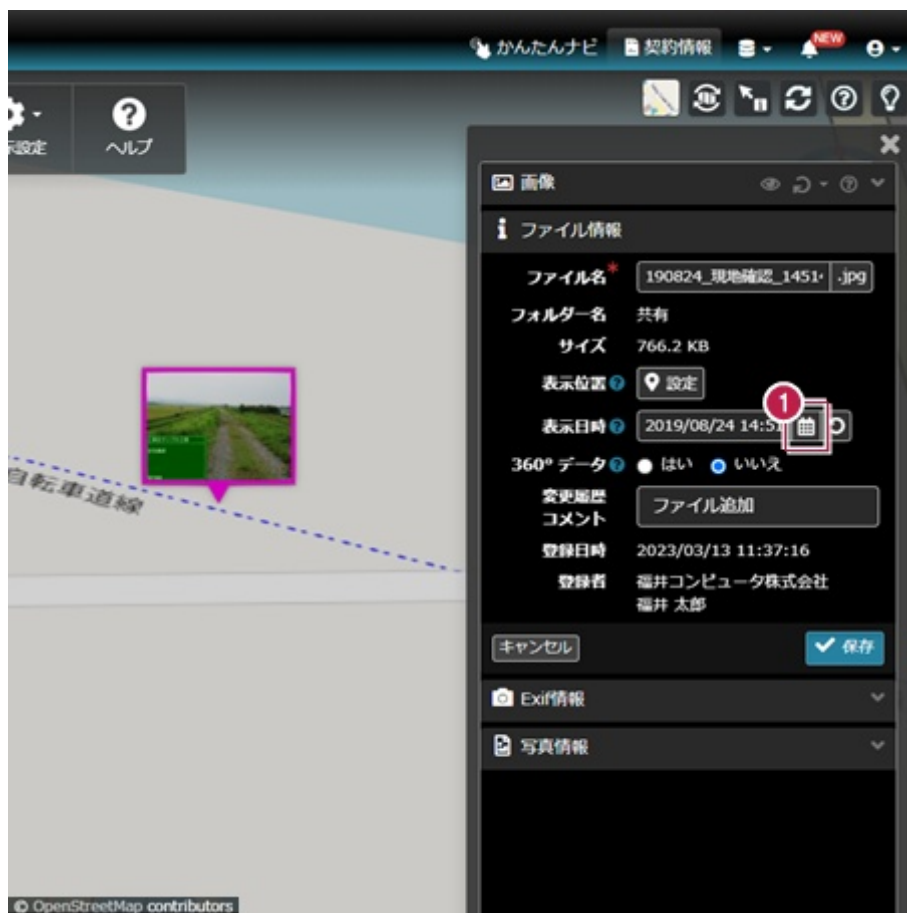


3. [保存] をクリックします。



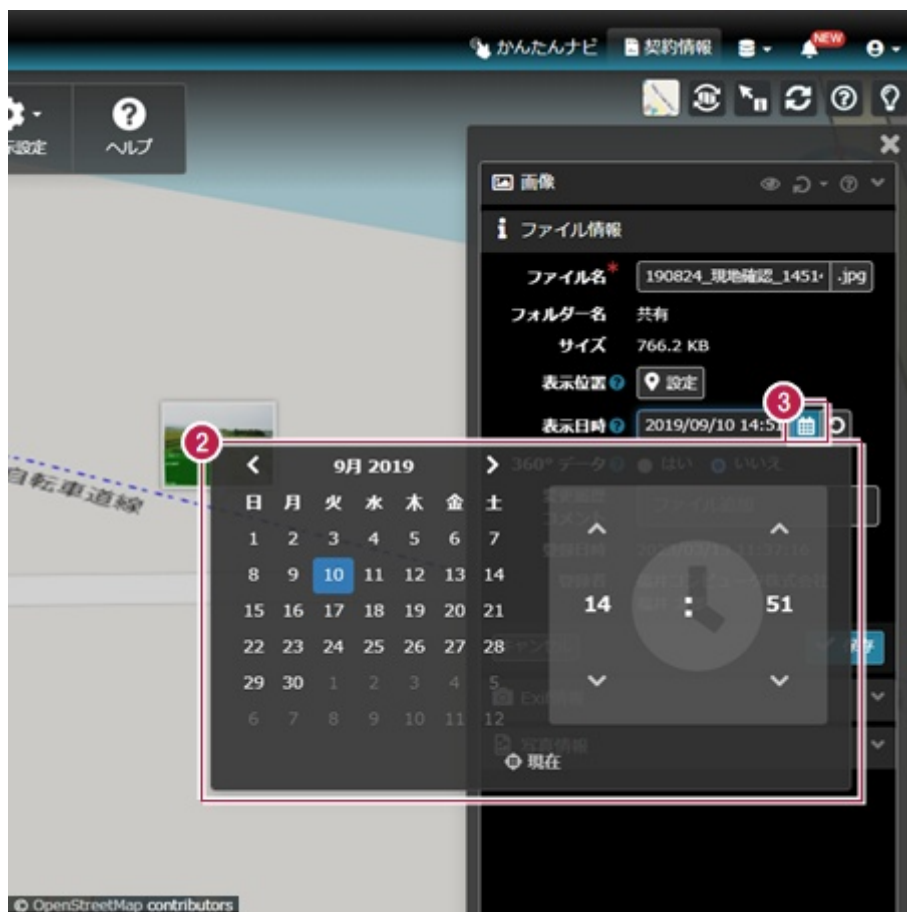
表示日時を変更する

1. [表示日時] の [カレンダーから選択] をクリックします。



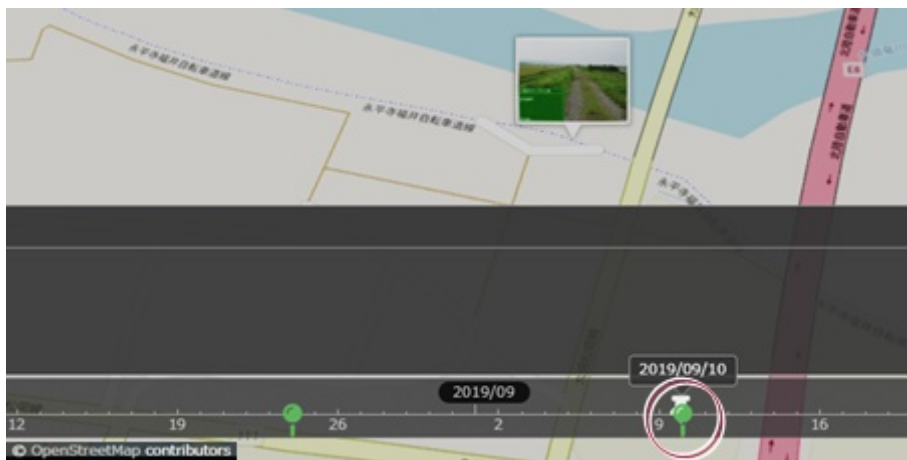
2. 表示日時を選択します。

3. [カレンダーから選択] をクリックして、カレンダーを閉じます。



4. [保存] をクリックします。

タイムラインにピンが追加され、表示日時が変更されたことが確認できます。



《補足》360°データ（全天球画像/動画）をパノラマビューアで確認する

360°データ（全天球画像/動画）をパノラマビューアで確認する場合は、[360°データ]で[はい]を選択してください。

[360°データ]は、ファイルの拡張子が「jpg」「jpeg」「mp4」の場合に表示されます。

[360°データ]が[はい]の場合、[ビューア]  をクリックするとパノラマ

ビューアが起動します。

パノラマビューアの詳細は、「[パノラマビューア](#)」を参照してください。

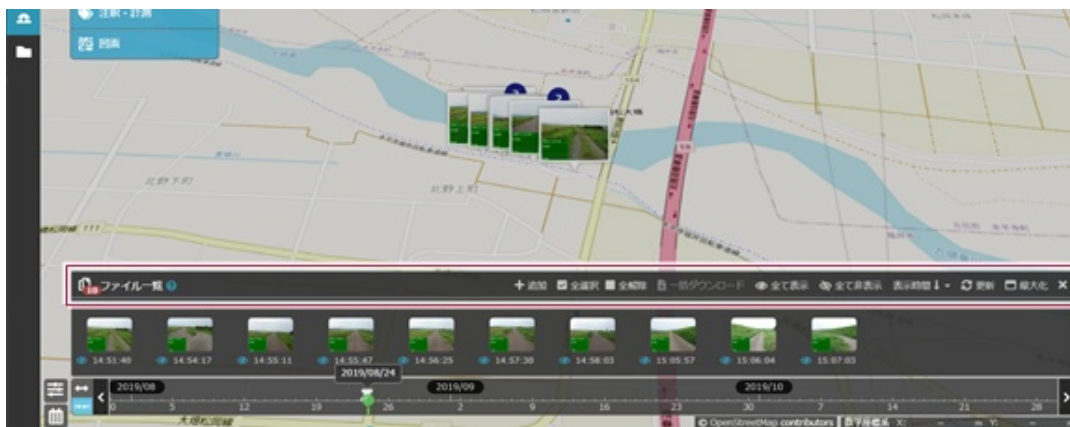


| 作成者－現場ビューア |

【作成者】 ファイル一覧について

2023年5月29日更新

現場ビューアのファイル一覧の各機能について説明します。



【追加】

写真や書類などのファイルを追加します。

詳細は、「[【作成者】 ファイルを登録する](#)」を参照してください。

【全選択】

全てのファイルを選択します。

【全解除】

全てのファイルの選択を解除します。

【一括ダウンロード】

ファイルをダウンロードします。

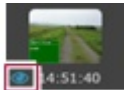
各ファイル右上のチェックボックスをオンにすると有効になります。

【全て表示】 / 【全て非表示】

全てのファイルの表示/非表示を切り替えます。

※各ファイルの表示/非表示は、 /  をクリックして切り替えてください。

( /  は位置情報がある写真にのみ表示されます。)



【表示時間】

ファイルの並び順を変更します。

「ファイル名」「ファイル種類」「表示時間」「登録者」の昇順/降順を選択します。

【更新】

最新の状態に更新します。

【最大化】

ファイル一覧を全画面に表示します。

「縮小」をクリックすると、元の表示に戻ります。



【×】

ファイル一覧を非表示にします。

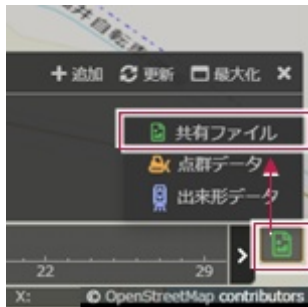
画面右下の「ファイル一覧」をクリックすると、再表示できます。



《3D補足》 3D現場の場合

タイムライン右側にモード切り替えボタンが表示されます。

ファイル一覧を確認する場合は、[共有ファイル] を選択してください。



| 作成者－現場ビューア |

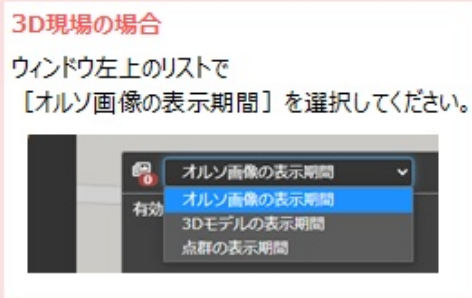
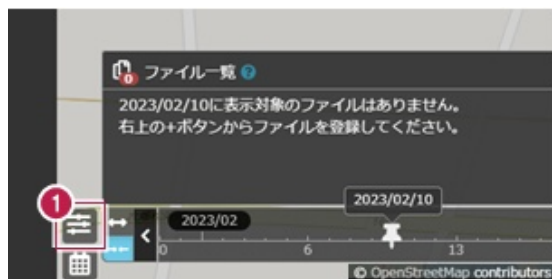
【作成者】オルソ画像の表示期間を設定する

2023年5月29日更新

オルソ画像の表示期間を設定します。

オルソ画像の登録方法は、「[【作成者】ファイルを追加する](#)」の「オルソ画像ファイルを追加する」を参照してください。

1.画面左下の「表示期間設定」をクリックします。



2.表示期間を変更する画像のバーをクリックします。



ファイル名をクリックすると、
画像が拡大表示されます。

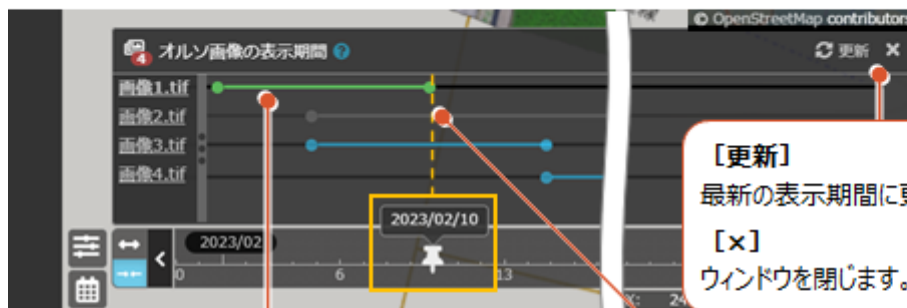
スライダーをドラッグすると、
ファイル名の表示領域を変更できます。

3.現場ビューアに表示する/しない、表示期間を設定します。

4. [保存] をクリックします。



【選択クリア】で表示開始日と表示終了日を空欄にすると、工事の全期間表示されます。



【更新】
最新の表示期間に更新します。

【×】
ウィンドウを閉じます。

- ・表示開始日が古いものが上から順に表示されます。現場ビューアでは、並び順の上の画像が奥（下）に表示されます。
- ・選択中のバーは緑色、非表示に設定されているバーは灰色で表示されます。

タイムライン選択日を含む画像が現場ビューアに表示されます。

| 作成者－現場ビューア |

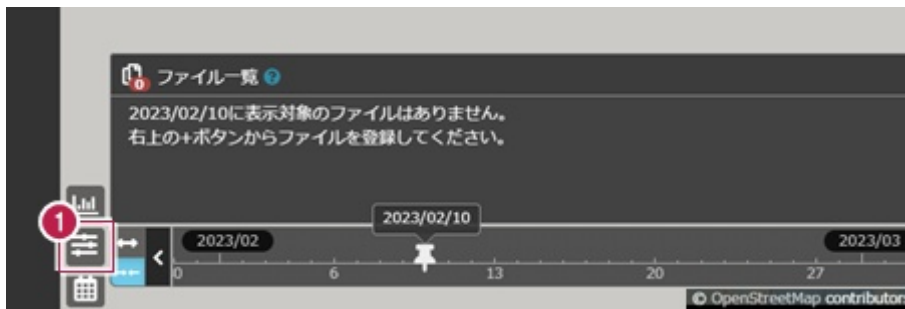
【作成者】3Dモデルの表示期間を設定する（3D）

2023年5月29日更新

3Dモデルの表示期間を設定します。

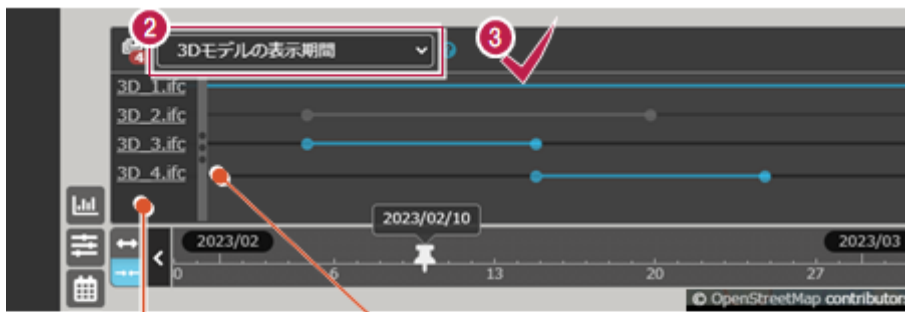
3Dモデルデータの登録方法は、「[【作成者】ファイルを追加する](#)」の「3Dモデルファイルを追加する」を参照してください。

1.画面左下の「表示期間設定」をクリックします。



2.ウィンドウ左上のリストで「3Dモデルの表示期間」を選択します。

3.表示期間を変更する3Dモデルのバーをクリックします。



ファイル名をクリックすると、3Dモデルが拡大表示されます。

スライダーをドラッグすると、ファイル名の表示領域を変更できます。

4.現場ビューアに表示する/しない、表示期間を設定します。

5. [保存] をクリックします。



【選択クリア】で表示開始日と表示終了日を空欄にすると、工事の全期間表示されます。



・表示開始日が古いものが上から順に表示されます。
・選択中のバーは緑色、非表示に設定されているバーは灰色で表示されます。

【更新】
最新の表示期間に更新します。
【×】
ウィンドウを閉じます。

タイムライン選択日を含む3Dモデルが現場ビューアに表示されます。

| 作成者－現場ビューア |

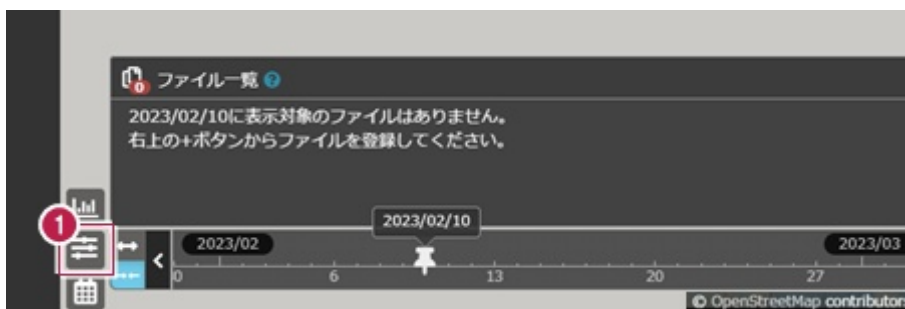
【作成者】点群の表示期間を設定する（3D）

2023年5月29日公開

点群の表示期間を設定します。

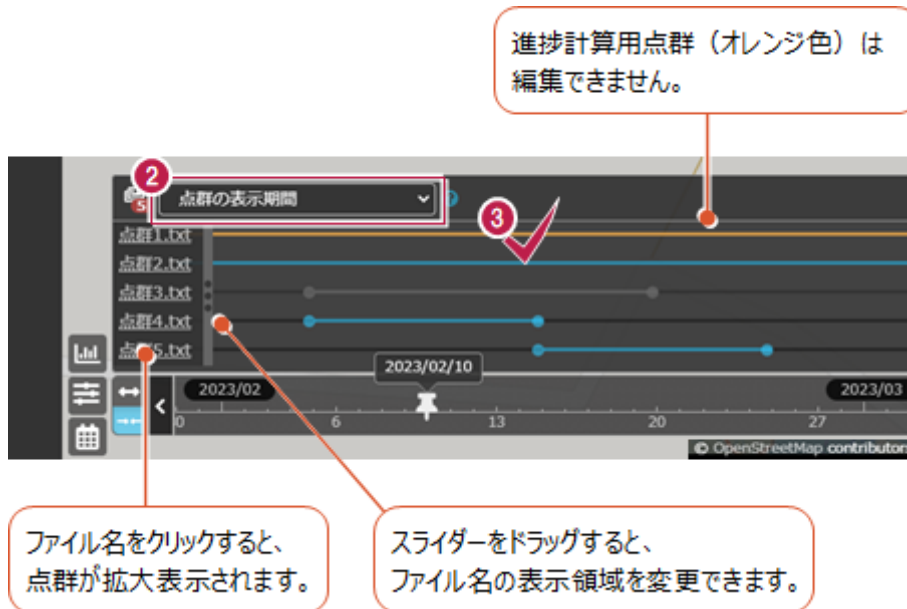
点群データの登録方法は、「[【作成者】ファイルを追加する](#)」の「点群ファイルを追加する」を参照してください。

1.画面左下の「表示期間設定」をクリックします。



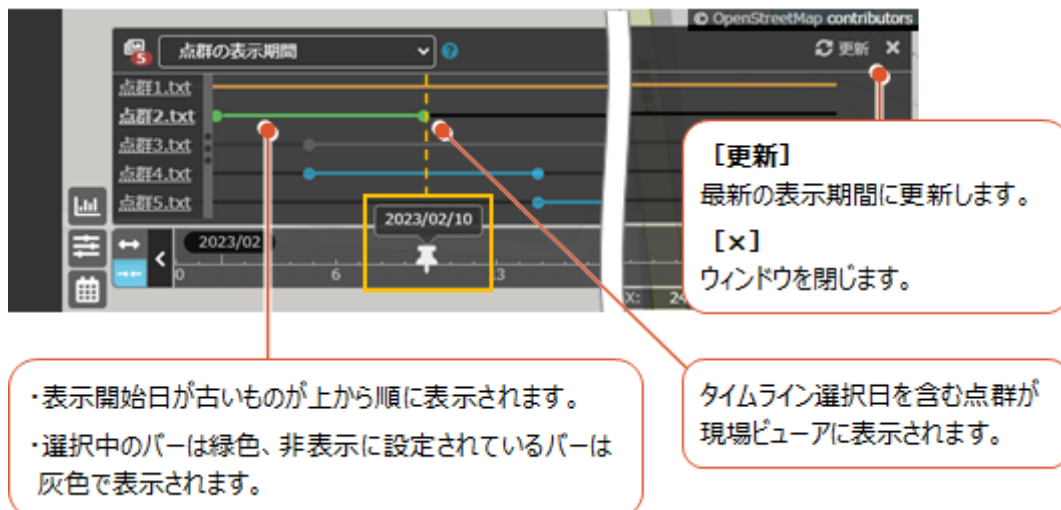
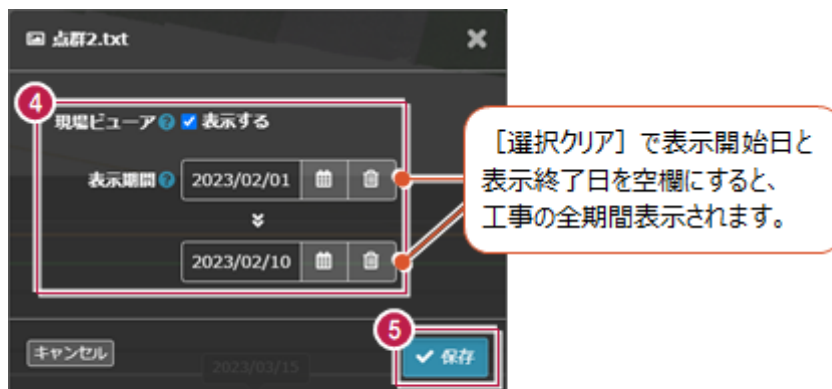
2.ウィンドウ左上のリストで「点群の表示期間」を選択します。

3.表示期間を変更する点群のバーをクリックします。



4. 現場ビューアに表示する/しない、表示期間を設定します。

5. [保存] をクリックします。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】データを検索する

2023年5月29日更新

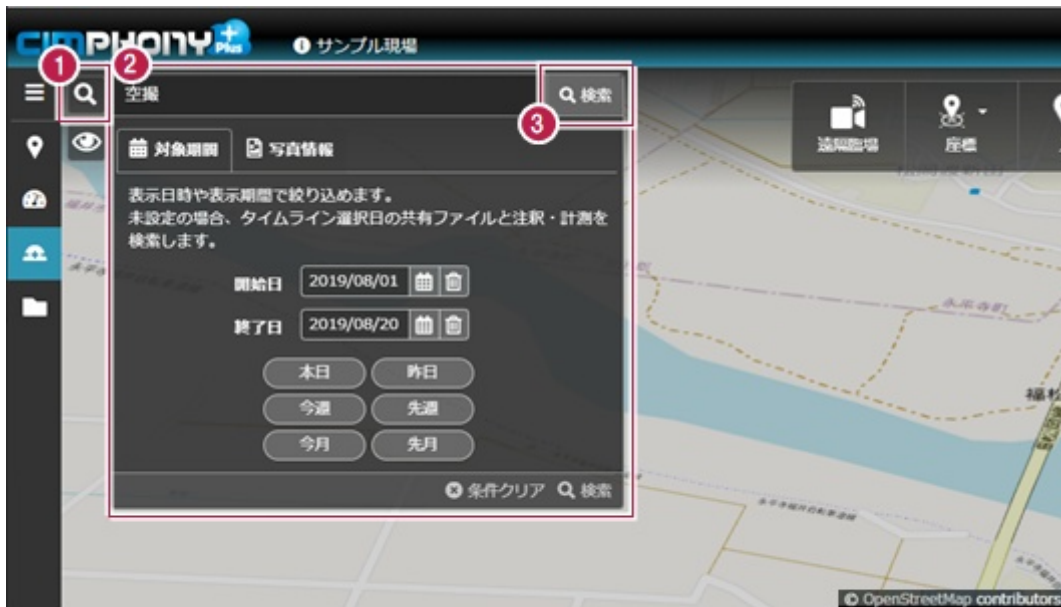
条件を指定して、該当するファイルや計測、注釈を現場ビューアに表示します。

目次

- ・ 検索条件を設定する
- ・ 検索条件を解除する

検索条件を設定する

- 1.画面左上の [検索] をクリックします。
- 2.検索条件を設定します。
3. [検索] をクリックします。
指定した条件に該当するデータが表示されます。



検索実行中は、検索ボタンが青色で表示されます。



対象期間が青色で強調表示されます。

検索条件を解除する

1. [条件クリア] をクリックします。

2. [検索] をクリックします。

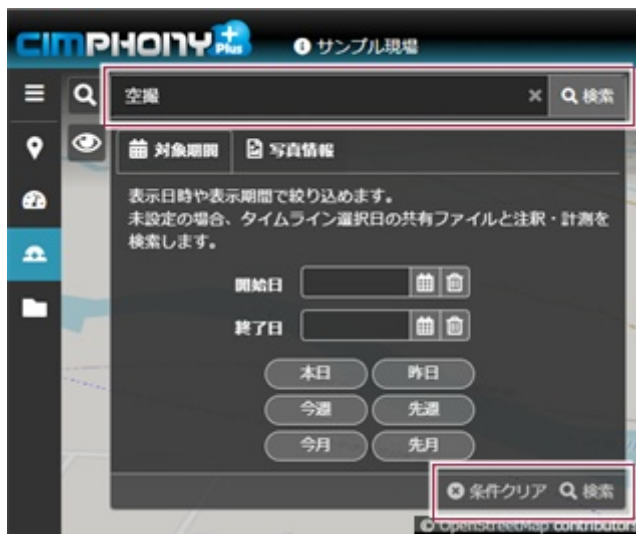
検索表示が解除されます。



[検索] をクリックすると、ダイアログが非表示になります。



《補足》 検索条件について



入力ボックス

検索キーワードを入力します。

スペースを空けて複数キーワードを入力すると、全てのキーワードを含むデータを検索します。

[キーワード検索対象項目]

- ・ ファイル情報（ファイル名、登録者名）
- ・ 写真情報（受注者名、撮影工種区分、写真タイトル、撮影箇所）
- ・ 注釈テキスト、注釈・計測備考

[検索]

設定した条件で検索を実行します。

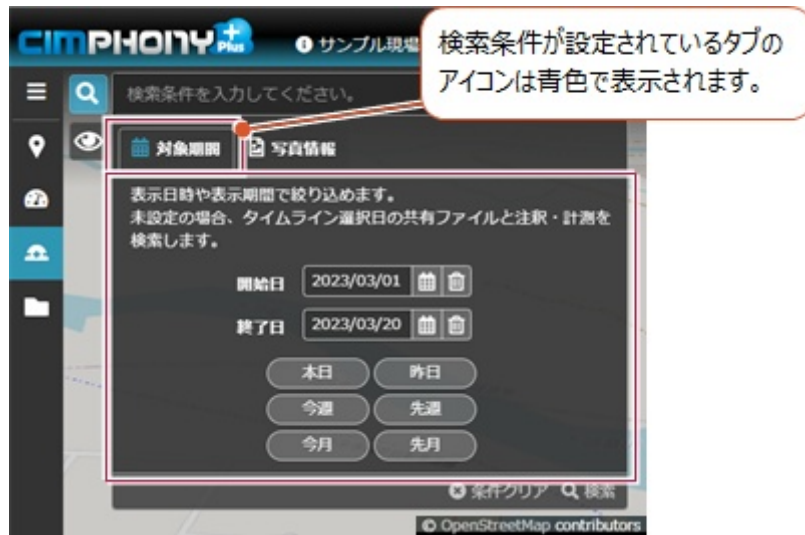
ダイアログ右下の [検索] も同様です。

[条件クリア]

検索条件をクリアします。

[対象期間] タブ

表示日時や表示期間で絞り込みます。



【開始日】

【カレンダーから選択】  で表示開始日を指定します。

指定しない場合は、【選択クリア】  をクリックして空欄にします。

【終了日】

【カレンダーから選択】  で表示終了日を指定します。

指定しない場合は、【選択クリア】  をクリックして空欄にします。

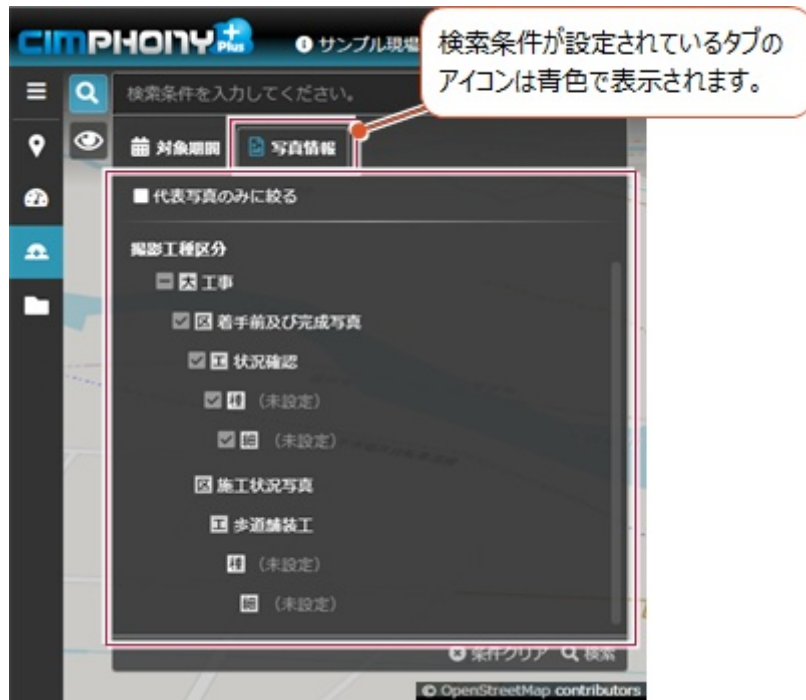
日付ボタン

本日、昨日、今週、先週、今月、先月の期間を【開始日】 【終了日】 に設定します。

【写真情報】 タブ

写真情報で絞り込みます。

写真情報を保持している写真が登録されている場合に表示されます。



【代表写真のみに絞る】

代表写真に設定されている写真のみ検索したい場合、オンにします。

【撮影工種区分】

検索したい写真の工種区分をオンにします。

| 【作成者】現場ビューア |

【作成者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える

2024年3月19日更新

現場ビューアに表示されている要素の表示/非表示を切り替えます。

1.画面左上の「表示切替」で各要素ボタンをクリックして、オン・オフを切り替えます。



【注釈・計測】のみオンの場合



【図面】のみオンの場合



※ファイル情報の「現場ビューア」が「表示する」になっている図面データが表示されます。

設定方法は、「[【作成者】ファイル情報を編集する](#)」の補足「【図面】フォルダーのファイル情報編集について」を参照してください。

《補足》座標点の表示/非表示を切り替える

【座標】は座標種別（（未設定）、工事基準点、標定点、検証点、計測点）ごとに表示/非表示の切り替えができます。

また、座標種別の右側のボタンをクリックすると、[点名とマーク] [マークのみ] の切り替えができます。

座標種別の設定方法は、「[【作成者】座標点を配置する](#)」を参照してください。

【点名とマーク】



【マークのみ】



《補足》写真ファイルごとに表示/非表示を切り替える

ファイル一覧で各ファイルの  /  をクリックすると、表示/非表示が切り替わります。

( /  は位置情報がある写真にのみ表示されます。)

表示 



非表示 



《補足》背景の表示/非表示を切り替える

画面右上の「背景の表示/非表示」をクリックすると、オルソ画像を含む背景の表示/非表示が切り替わります。



※オルソ画像は背景として扱われるため、背景と共に表示/非表示が切り替わります。

オルソ画像ファイルごとの表示/非表示の切り替え方法は、「[【作成者】オルソ画像の表示期間を設定する](#)」を参照してください。

《補足》図面が正しい位置に表示されない場合

図面の座標情報が誤っている場合は、正しい位置に表示されません。

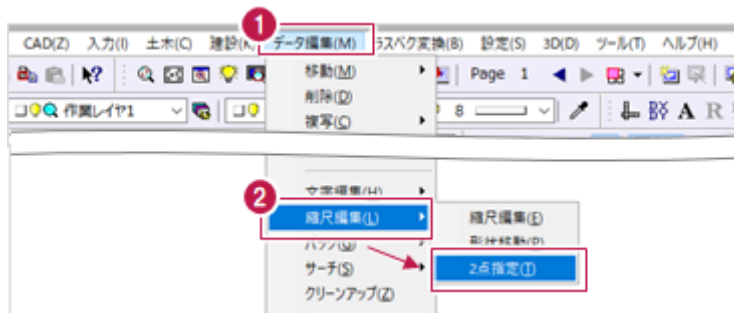
「EX-TREND武蔵 建設CAD」などの図面作成アプリケーションを使用して、座標値を正しく設定してください。

ここでは、建設CADの「縮尺編集」－「2点指定」を利用して、座標値を訂正する方法を説明します。

「縮尺編集」－「2点指定」では、図面上の2点を指定して、現場座標値を設定できます。

1.メニューバーの「データ編集」をクリックします。

2. [縮尺編集] — [2点指定] をクリックします。

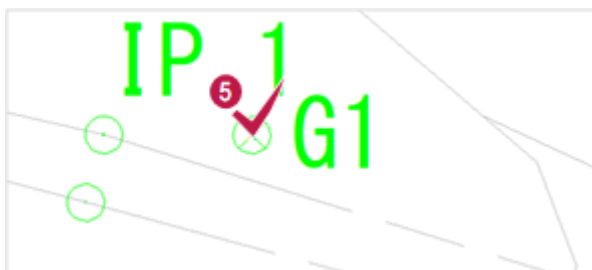


3. 訂正する縮尺をオンにします。

4. [OK] をクリックします。



5. 1点目の基準点をクリックします。



6. 2点目の基準点をクリックします。



7. 座標値を入力します。

8. [OK] をクリックします。

現場座標値/距離

7 座標値入力

1点目

X座標 11158.926 m

Y座標 24837.639 m

<< 座標入力一覧

2点目

X座標 11188.949 m

Y座標 24709.278 m

<< 座標入力一覧

距離入力 距離 0.000 m

8 OK キャンセル

9. 縮尺を確認します。

10. [OK] をクリックします。



縮尺の編集と共にCADデータも変更する場合は、
「CADデータも変更」をオンにします。

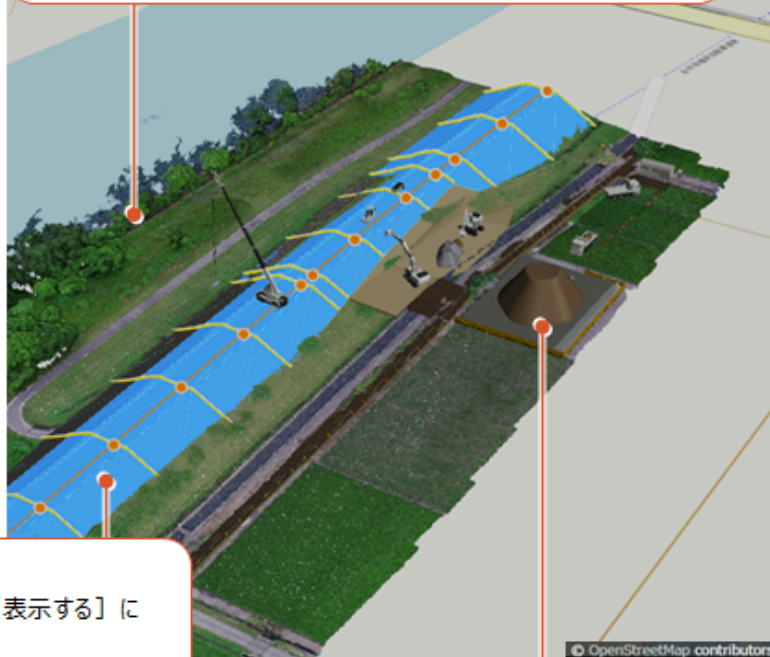
《3D補足》3D現場の場合

〔座標〕（（未設定）、工事基準点、標定点、検証点、計測点）〔写真〕〔注釈・計測〕〔図面〕の他、〔設計〕（三角網、中心線形、測点名、横断線）〔現況〕〔3Dモデル〕の表示/非表示の切り替えができます。



現況

ファイル情報の【現場ビュー】が【表示する】になっているデータが表示されます。
設定方法は、「【作成者】ファイル情報を編集する」の補足「【点群】フォルダーのファイル情報編集について」を参照してください。



設計

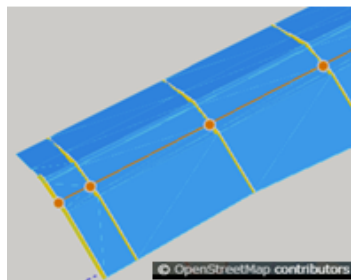
ファイル情報の【現場ビュー】が【表示する】になっているデータが表示されます。
進捗計算用の設計データ・検査データに含まれる設計データは青色、それ以外の設計データは灰色で表示されます。
設定方法は、「【作成者】ファイル情報を編集する」の補足「【設計】フォルダーのファイル情報編集について」を参照してください。
・LandXMLの場合は、「三角網」「中心線形」「測点名」「横断線」が表示対象です。
・基本設計データの場合は、「中心線形」「測点名」「横断線」が表示対象です。

3Dモデル

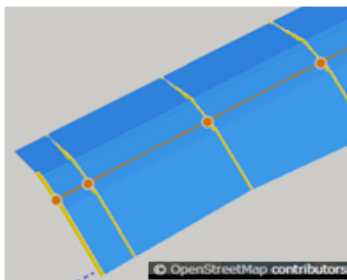
ファイル情報の【現場ビュー】が【表示する】になっているデータが表示されます。
設定方法は、「【作成者】ファイル情報を編集する」の補足「【3Dモデル】フォルダーのファイル情報編集について」を参照してください。

【三角網】の右側のボタンをクリックすると、【面+線（ワイヤー）】 【面のみ】 【線（ワイヤー）のみ】 の切り替えができます。

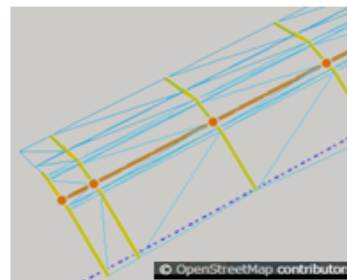
【面+線（ワイヤー）】



【面のみ】



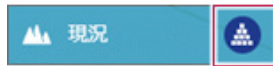
【線（ワイヤー）のみ】



「[現況]」の右側のボタンをクリックすると、「[点群]」「[メッシュ]」の切り替えができます。

メッシュデータの範囲については、補足「[メッシュデータの範囲について](#)」を参照してください。

「[点群]」



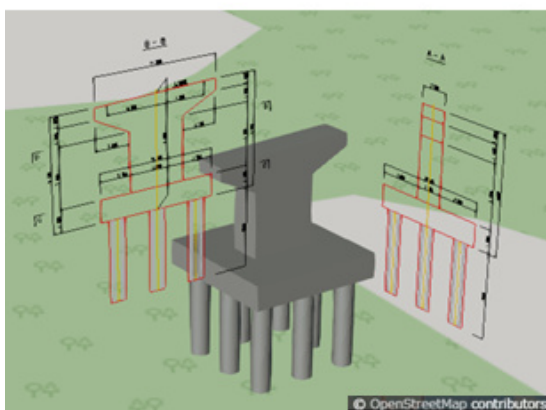
「[メッシュ]」



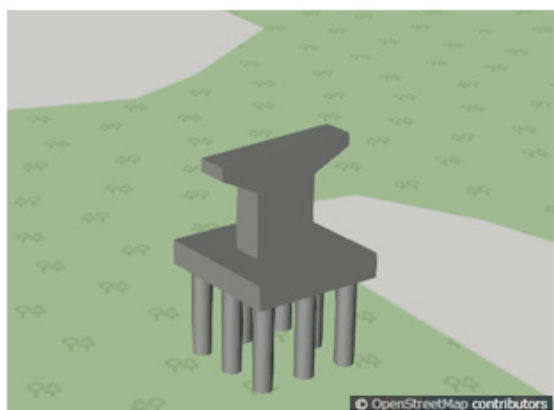
《3D補足》TREND-CORE連携データが登録されている場合

「[3Dモデル]」の右側にボタンが表示され、「[3Dモデル+3DA]」「[3Dモデルのみ]」の切り替えができます。

「[3Dモデル+3DA]」

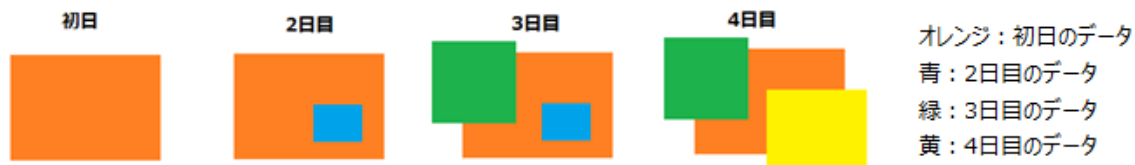


「[3Dモデルのみ]」



《3D補足》メッシュデータの範囲について

日々アップロードされる現況点群データを時系列順に継承したデータが作成されます。

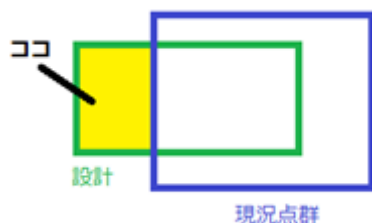


色付きの四角形は現況点群データの範囲です。

前日までの現況範囲の外であれば追加され、範囲内であれば上書き（差し替え）されます。

したがって、「メッシュデータの範囲」は「その日の現況点群データの範囲」より広くなることがあります。

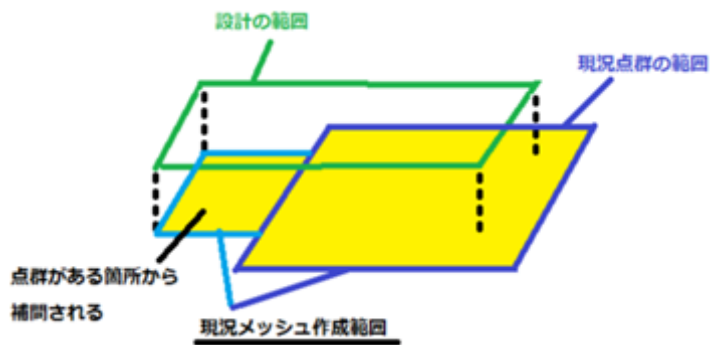
設計データの範囲に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が比較範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群データを用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

《3D補足》メッシュデータの面積制限について

メッシュデータの格子サイズは、現場情報の格子サイズの設定値に依存します。メッシュデータの格子サイズが小さいほど表現は精細になりますが、データ変換や表示に時間がかかり、データサイズも大きくなるため、現場情報の格子サイズ毎にメッシュデータの面積制限を設けています。

ここでの「面積」は、「データを包括する矩形の面積」を意味します。

したがって、道路や河川などの延長が長いデータは、ここでの「面積」が大きくなります。

また、点群処理の場合は、「設計」と「対象点群の測量日以前の全点群」を含めた領域の面積で判定します。



面積制限のチェックは「設計データの変換処理」または「点群データのデータ変換処理（進捗計算）」で行います。

制限を超える場合は進捗計算エラーとなり、詳細はファイル管理の「データ変換」または「進捗計算」で確認できます。

■面積制限

格子サイズ	面積制限値
0.5m	4 km ² まで
1.0m	16 km ² まで
2.5m	100 km ² まで
5.0m	400 km ² まで

※400km2を超える場合は、データを分割し現場を分けて運用してください。

| 【作成者】現場ビューア |

【作成者】遠隔臨場を行う

2025年2月18日更新

CIMPHONY Plusと連携可能な機器の情報を登録します。

機器情報を登録すると、CIMPHONY Plusから機器に接続できます。

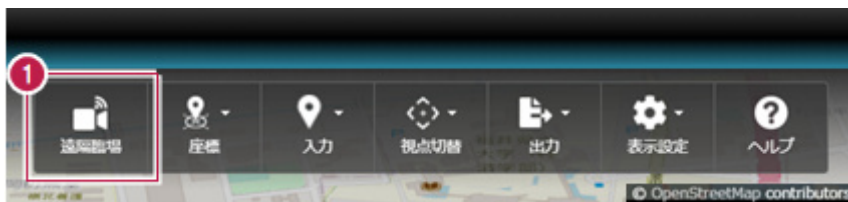
※接続後の動作は機器タイプによって異なります。

目次

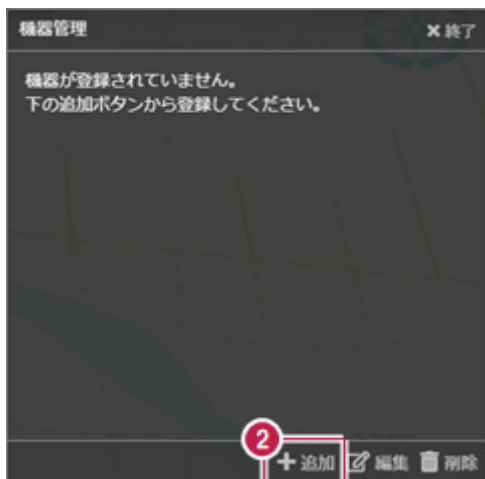
- 機器情報を登録する
- 機器に接続する
- 録画ファイルを取り込む
- 機器情報を編集する
- 機器情報を削除する

機器情報を登録する

1. [遠隔臨場] をクリックします。

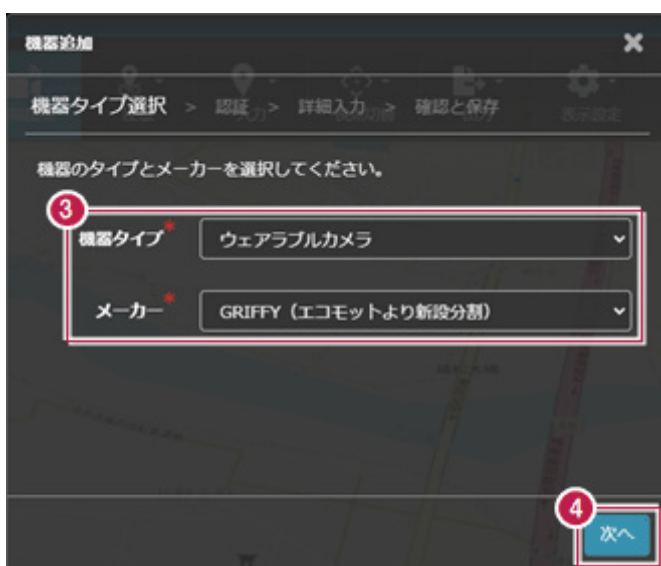


2. [追加] をクリックします。



3. [機器タイプ] [メーカー] を選択します。

4. [次へ] をクリックします。



5. [連携コード]（接続する機器の連携ID）を入力します。

※認証方法は、接続機器により異なる場合があります。

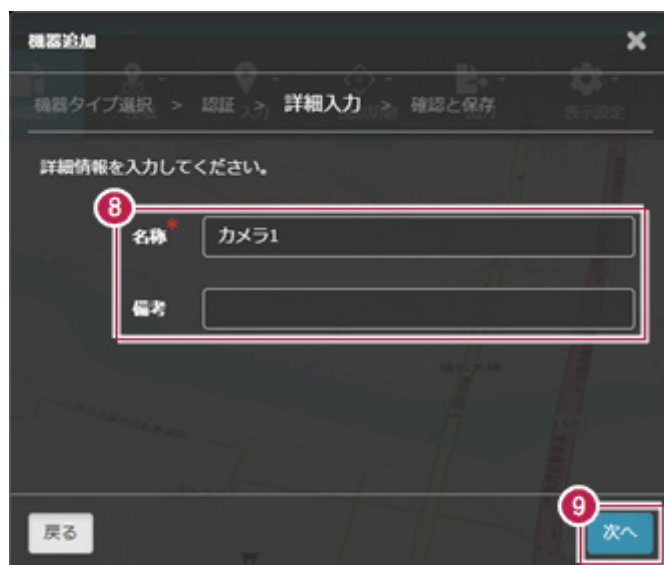
6. [認証] をクリックします。

7. [次へ] をクリックします。



8. [名称] [備考] を入力します。
(*は入力必須項目です。)

9. [次へ] をクリックします。



10. [保存] をクリックします。

機器情報が登録されます。

機器追加

機器タイプ選択 > 認証 > 詳細入力 > 確認と保存

入力内容を確認して保存してください。

機器タイプ ウェアラブルカメラ

メーカー GRIFFY (エコモットより新設分割)

連携コード *****

名称 カメラ1

備考

戻る 保存

機器管理

名称 ↓↑

カメラ1 接続 切断

遠隔臨場を終了する場合は、
[終了] または [遠隔臨場] を
クリックしてください。

遠隔臨場 座標 入力

+ 追加 編集 削除

機器に接続する

1. 接続する機器の [接続] をクリックします。



2. [はい] をクリックします。

※カメラの映像を視聴するための別ウィンドウが開きます。

以降の動作は機器タイプによって異なります。



録画ファイルを取り込む

1. ファイルを取り込む機器の [取込] をクリックします。



2. 取り込む録画ファイルの「取込」をクリックします。

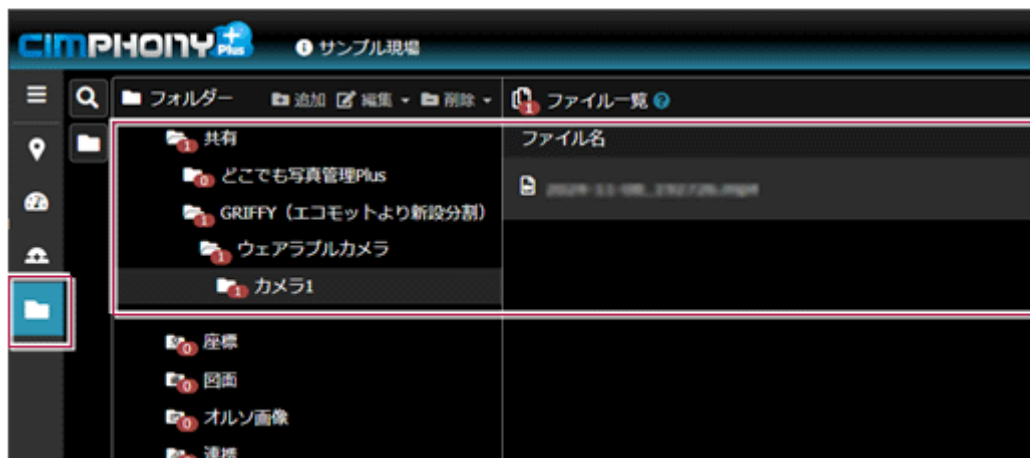


3. 「更新」をクリックして、「取込状況」を確認します。



4. 取り込み後、[×] をクリックします。

ファイル管理に機器フォルダーが作成され、「取込済」のファイルが登録されていることが確認できます。



機器情報を編集する

1. 編集する機器を選択します。
2. 「編集」をクリックします。



3. [名称] [備考] を入力します。

4. [OK] をクリックします。



機器情報を削除する

1. 削除する機器を選択します。

2. [削除] をクリックします。



3. [はい] をクリックします。



| 【作成者】現場ビューア |

【作成者】座標点を配置する

2024年3月19日更新

座標ファイルを読み込み、現場ビューアに座標点を配置します。
対応するファイルの拡張子は、「sim」「csv」です。

1. [座標] をクリックします。
2. [座標管理] をクリックします。

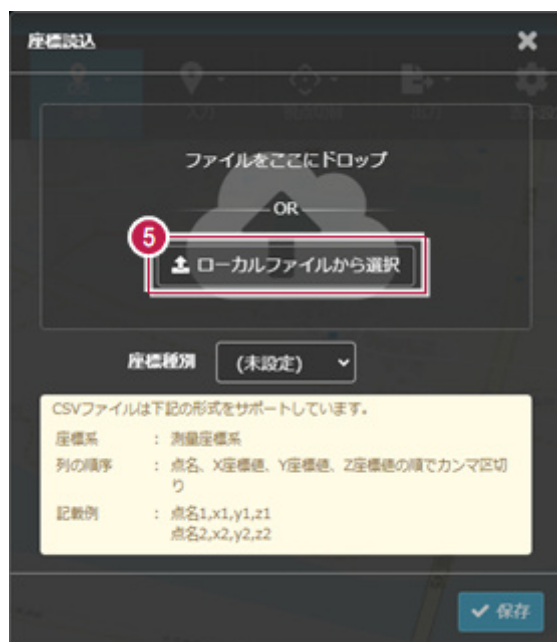


3. [座標読込] をクリックします。
4. [ローカルファイルから選択] をクリックします。



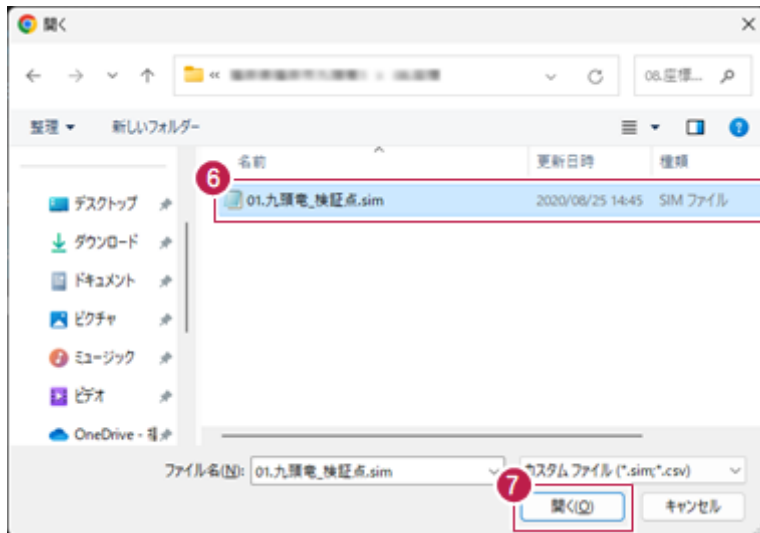
5. [ローカルファイルから選択] をクリックします。

※枠内にファイルをドラッグ&ドロップして追加することもできます。



6.取り込むファイルを選択します。

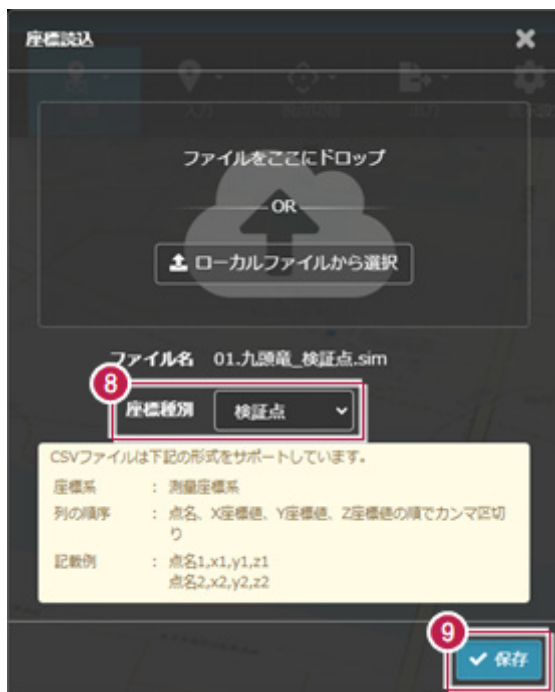
7. [開く] をクリックします。



8. [座標種別] を選択します。

9. [保存] をクリックします。

座標が取り込まれ、現場ビューアに表示されます。



10. [座標] をクリックしてコマンドを終了します。

10

座標

入力 視点切替 出力 表示設定 ヘルプ

座標一覧

No	表示	色	点名	X座標	Y座標	Z座標
1	○	■	G1	24837.639	11158.926	23.491
2	○	■	G2	24709.278	11188.949	23.217
3	○	■	T1	24807.084	11167.352	23.535
4	○	■	T2	24775.457	11171.481	23.453
5	○	■	T3	24743.488	11178.354	23.342
6	○	■	T4	24740.327	11195.360	18.900
7	○	■	T5	24794.943	11177.798	21.581
8	○	■	T6	24732.778	11204.284	18.652
9	○	■	T7	24770.488	11201.918	18.583
10	○	■	T8	24805.463	11149.213	18.383
11	○	■	T9	24717.024	11167.863	18.227

【表示】の【○】をクリックすると、表示/非表示の切り替えができます。

【詳細】をクリックすると、座標種別、作成日時、登録元を確認できます。

【点名】は32文字まで取り込めます。

2023/02 2023/03/16

GreenStreetMap contributors 数字座標系 X: - m Y: - m

終了

※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。

座標一覧							終了
表示	No	表示	色	点名	X座標	Y座標	Z座標
☐	1	○	■	G1	24837.639	11158.926	23.491
☐	2	○	■	G2	24709.278	11188.949	23.217

《補足》座標をコピー、編集、削除する

座標一覧ダイアログの [コピー] [編集] [削除] で、チェックをオンにした座標をコピー、編集、削除します。



☒	No	表示	色	点名	X座標	Y座標	Z座標
☒	1	☐	■	G1	24837.639	11158.926	23.491
☒	2	☐	■	G2	24709.278	11188.949	23.217
☒	3	☐	■	T1	24807.084	11167.352	23.535
☐	4	☐	■	T2	24775.457	11171.481	23.453
☐	5	☐	■	T3	24743.488	11178.354	23.342
☐	6	☐	■	T4	24740.327	11195.360	18.900
☐	7	☐	■	T5	24794.943	11177.798	21.581
☐	8	☐	■	T6	24732.778	11204.284	18.652
☐	9	☐	■	T7	24770.488	11201.918	18.583
☐	10	☐	■	T8	24805.463	11149.213	18.383
☐	11	☐	■	T9	24717.024	11167.863	18.227

詳細 全選択 全解除 コピー 編集 削除 座標読み込み 座標書き込み

【コピー】

座標情報をクリップボードにコピーします。

【編集】

【座標種別】 【色】 【表示】 を変更します。



複数の座標を編集する場合は、
変更したい項目をオンにしてください。

【削除】

座標を削除します。

《補足》座標を書き込む

座標一覧ダイアログの「座標書込」で、チェックをオンにした座標（点名、X座標、Y座標、Z座標）のファイルを保存します。



■ローカルヘダウンドロード

コンピューターに座標ファイルを保存します。



【ファイル形式】

出力するファイルの形式を選択します。

【ファイル名】

ファイル名を入力します。

■ファイル管理へコピー

ファイル管理の「座標」フォルダーにファイルを登録します。



座標書込

出力されたファイルは、「座標」フォルダーに格納されます。

ファイル形式 ☒ SIMA ☐ CSV

ファイル名 .sim

変更履歴コメント

✓ 保存

【ファイル形式】

出力するファイルの形式を選択します。

【ファイル名】

ファイル名を入力します。

【変更履歴コメント】

変更履歴コメントを入力します。

入力内容はファイル情報や履歴で確認できます。

《補足》座標点数の制限について

座標は1000点まで登録できます。

上限に近付くとメッセージが表示されます。



No	表示	色	点名	X座標	Y座標	Z座標
1	☐	■	G1	24837.639	11158.926	23.491
2	☐	■	G2	24709.278	11188.949	23.217

《補足》座標ファイル読み込み時の座標系について

座標ファイルは、全て測量座標系として読み込みます。

現場ビューアや座標一覧ダイアログでは、現場情報で設定した座標系をもとに座標が表示されます。

- ・現場情報で「測量座標系」に設定している場合
→そのまま表示
- ・現場情報で「数学座標系」に設定している場合
→X座標とY座標を入れ替えて表示

測量座標系で作成した座標ファイルを使用してください。

| 作成者－現場ビューア |

【作成者】座標点の表示設定を行う

2023年5月29日更新

座標点の文字サイズ、マークサイズを設定します。

1. [座標] をクリックします。
2. [表示設定] をクリックします。



3. [点名の文字サイズ] [マークサイズ] を設定します。
4. [確定] をクリックします。
現場ビューアの座標点に設定が反映されます。



【点名の文字サイズ】

点名の文字サイズを設定します。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【マークサイズ】

マークのサイズを設定します。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【拡大率による自動調整】

オンにすると、ビューの拡大率によって点名のサイズを自動調整します。

縮小した時はサイズが小さく、拡大した時はサイズが大きくなります。

| 作成者－現場ビューア |

【作成者】距離を計測する

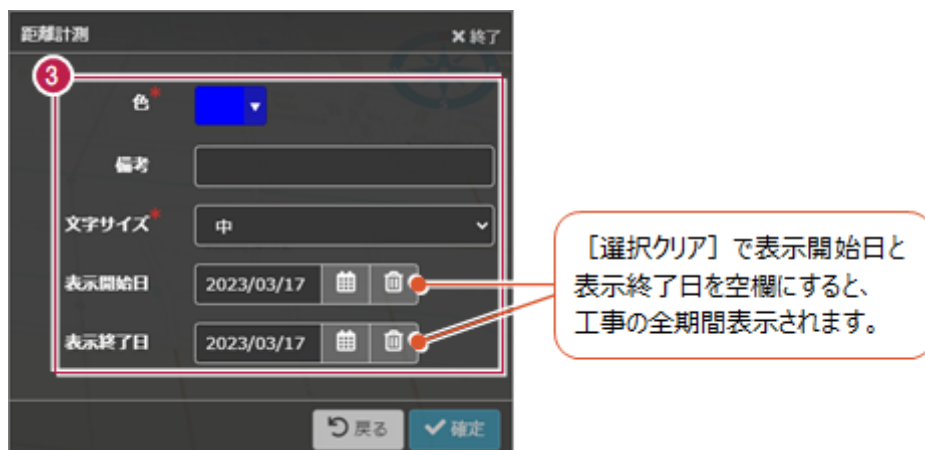
2023年5月29日更新

現場ビューアで距離（2点間距離、累積距離）を計測します。

1. [入力] をクリックします。
2. [距離計測] をクリックします。



3. [色] [備考] [文字サイズ] [表示開始日] [表示終了日] を設定します。
（*は入力必須項目です。）



4.計測する点を2点以上クリックします。

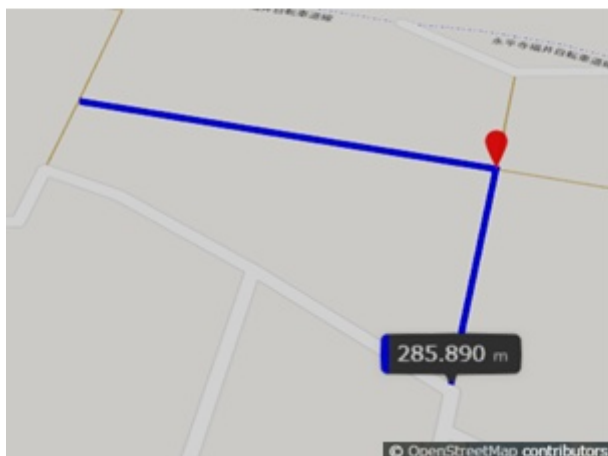


5.終点をクリック後、「確定」をクリックします。

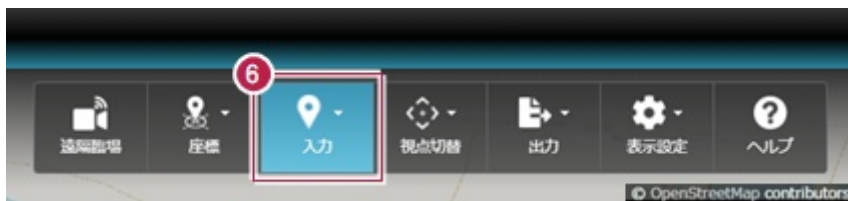
※2点以上指定すると「確定」が有効になります。

※終点をダブルクリックして確定することもできます。

終点に計測値が配置されます。



6. [入力] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】面積を計測する

2023年5月29日更新

現場ビューアで面積を計測します。

1. [入力] をクリックします。
2. [面積計測] をクリックします。



3. [色] [備考] [文字サイズ] [表示開始日] [表示終了日] を設定します。
(*は入力必須項目です。)



4.計測する点を3点以上クリックします。



マーカーや図面線上にスナップすることもできます。
スナップの詳細は、「スナップについて」を参照してください。

3D現場の場合

点群や設計面上、3Dモデル面上を指定できます。
ただし、端点を正確には指定できません。

各線分の中点に
線分ごとの距離が表示されます。

5.終点をクリック後、[確定] をクリックします。

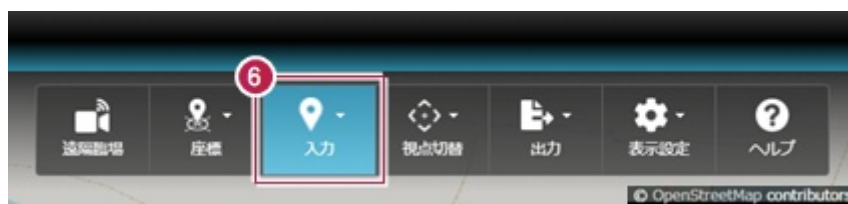
※3点以上指定すると[確定] が有効になります。

※終点をダブルクリックして確定することもできます。

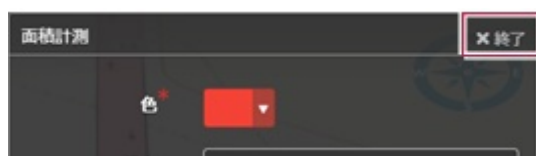
範囲内に計測値が配置されます。



6. [入力] をクリックしてコマンドを終了します。

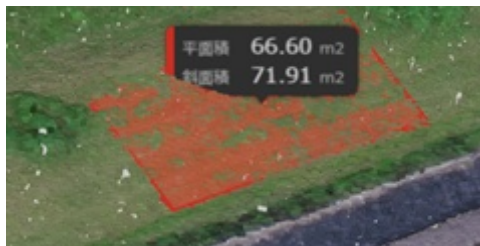


※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



《3D補足》3D現場の場合

点群や設計面上、3Dモデル面上を指定すると、[平面積] と標高を考慮した [斜面積] が表示されます。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】体積を計測する（3D）

2023年5月29日更新

現場ビューアで体積を計測します。
点群データを登録後に操作してください。

1. [表示切替] の [現況] をオンにします。



2. [入力] をクリックします。

3. [体積計測] をクリックします。



自動でメッシュ表示に切り替わります。



4. [色] [備考] [文字サイズ] [表示開始日] [表示終了日] を設定します。
(*は入力必須項目です。)



[選択クリア] で表示開始日と表示終了日を空欄にすると、工事の全期間表示されます。

5. 現況メッシュ上で計測する点を3点以上クリックします。



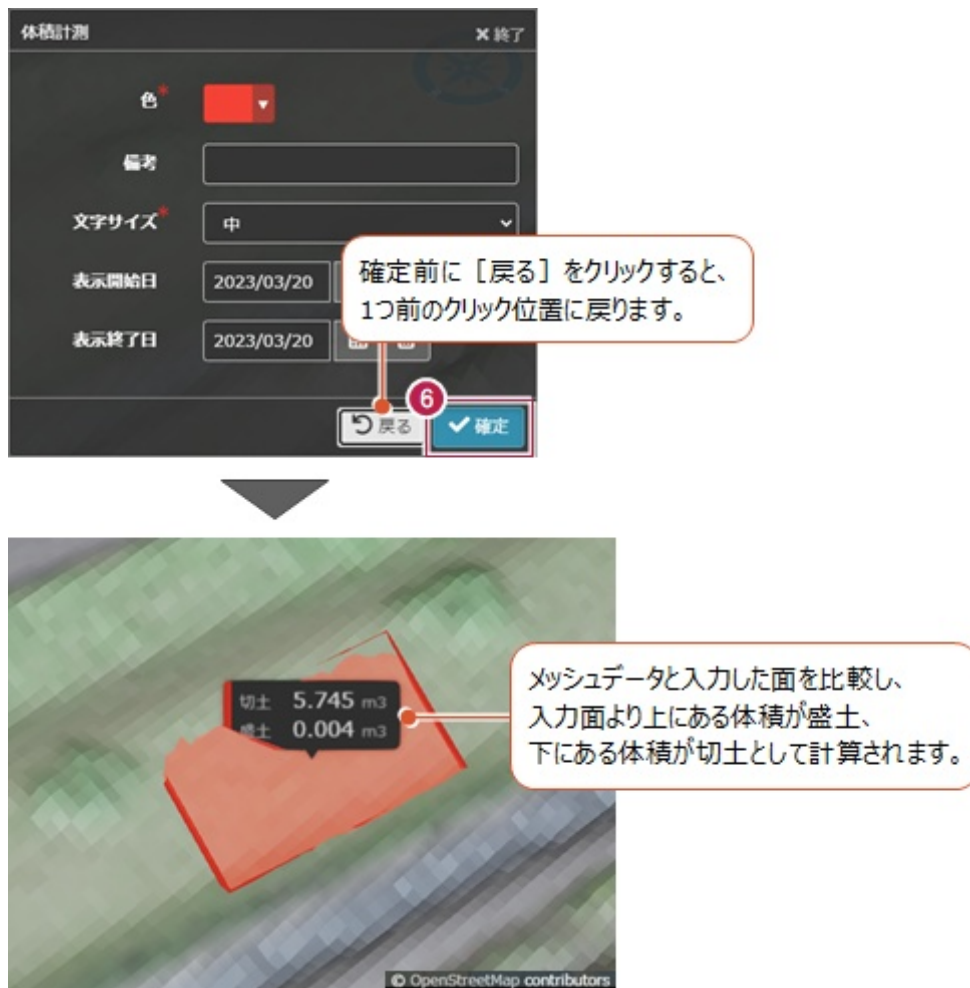
各線分の中点に線分ごとの距離が表示されます。

6. 終点をクリック後、[確定] をクリックします。

※3点以上指定すると[確定] が有効になります。

※終点をダブルクリックして確定することもできます。

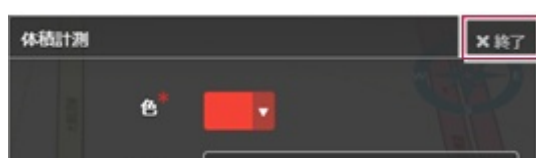
範囲内に計測値が配置されます。



7. [入力] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】 注釈-マーカーを配置する

2023年5月29日更新

現場ビューアにマーカー（ピン）を配置します。
基準点を指し示すなど目印として利用できます。

1. [入力] をクリックします。
2. [マーカー] をクリックします。



3. [アイコン] [備考] [サイズ] [表示開始日] [表示終了日] を設定します。
（*は入力必須項目です。）

マーカー × 終了

3

アイコン 

備考

サイズ

表示開始日  

表示終了日  

数値入力 (数値系)

X座標 m

Y座標 m

Z座標 m

「選択クリア」で表示開始日と表示終了日を空欄にすると、工事の全期間表示されます。

「X座標」「Y座標」「Z座標」を入力して現場ビューの任意の位置をクリックすると、入力した座標値にマーカーが配置されます。

数値入力 (数値系)

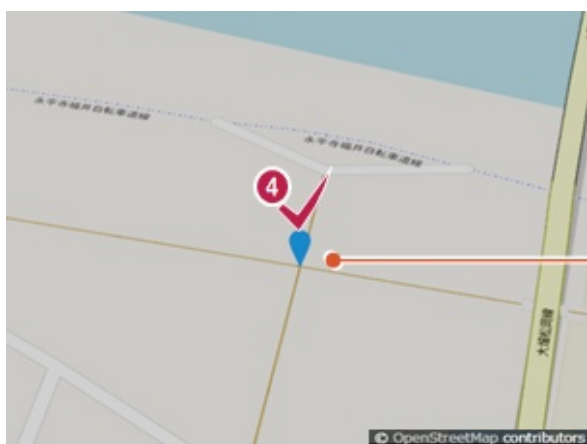
X座標 m

Y座標 m

Z座標 m

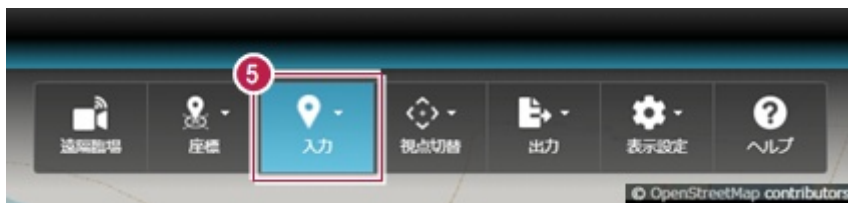
※ 「X座標」「Y座標」には「-700000.000」から「700000.000」、「Z座標」には「-9999.999」から「9999.999」を入力してください。

4. マーカーの配置位置をクリックします。
マーカーが配置されます。

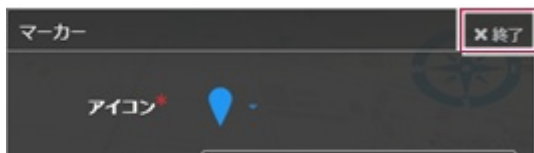


マーカーや図面線上にスナップすることもできます。
スナップの詳細は、「スナップについて」を参照してください。

5. 「入力」をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】 注釈-テキストを配置する

2023年5月29日更新

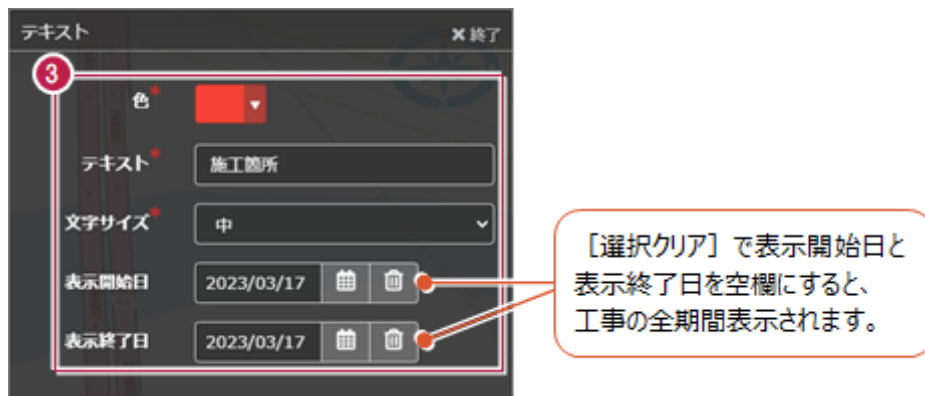
現場ビューアにテキスト（吹き出し文字）を配置します。
メモ書きや注釈として利用できます。

1. [入力] をクリックします。
2. [テキスト] をクリックします。



3. [色] [テキスト] [文字サイズ] [表示開始日] [表示終了日] を設定します。

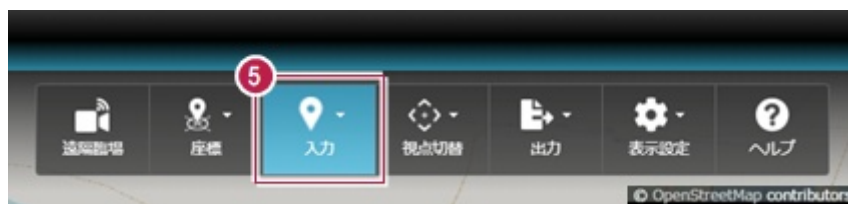
（*は入力必須項目です。）



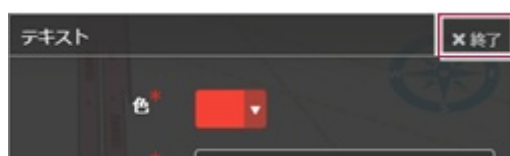
4. テキストの配置位置をクリックします。
テキストが配置されます。



5. [入力] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】 注釈-ファイルを配置する

2023年5月29日更新

現場ビューアに注釈（ファイルマーク）を配置します。

位置情報がない書類を注釈（ファイルマーク）に関連付けて配置することで、地図上で情報を共有できます。

1. [入力] をクリックします。
2. [ファイル] をクリックします。



3. [ファイル] の [選択] をクリックします。

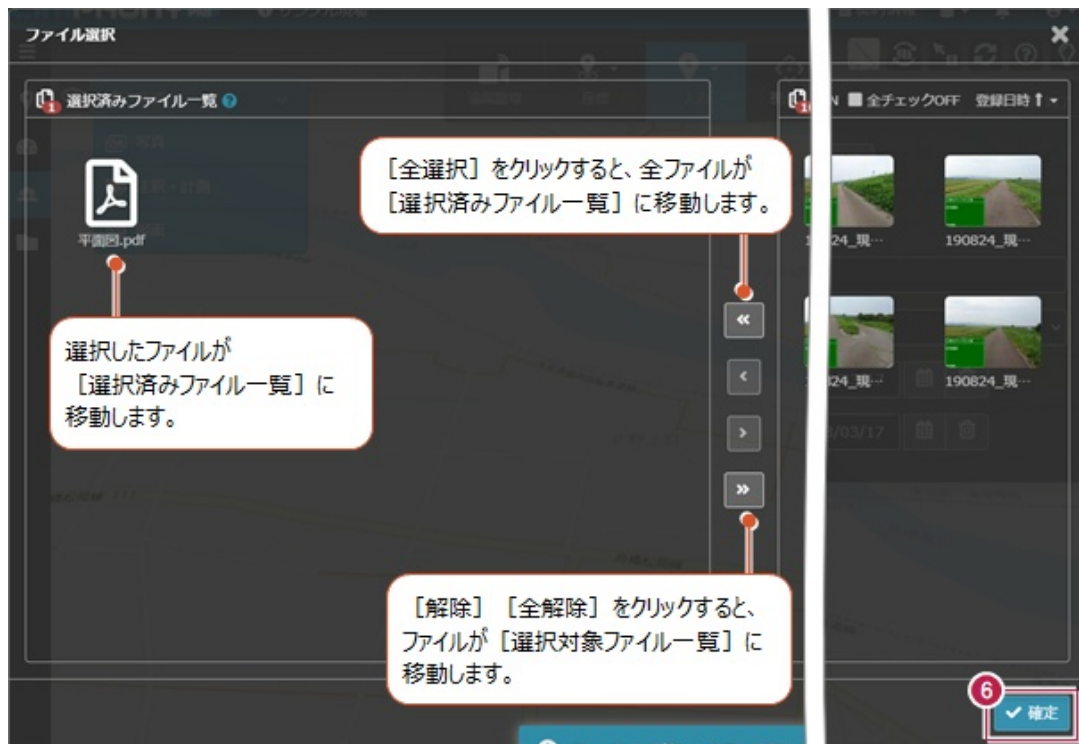


4. [選択対象ファイル一覧] で、注釈として配置するファイルの上にマウスを移動し、右上のチェックボックスをクリックしてオンにします。

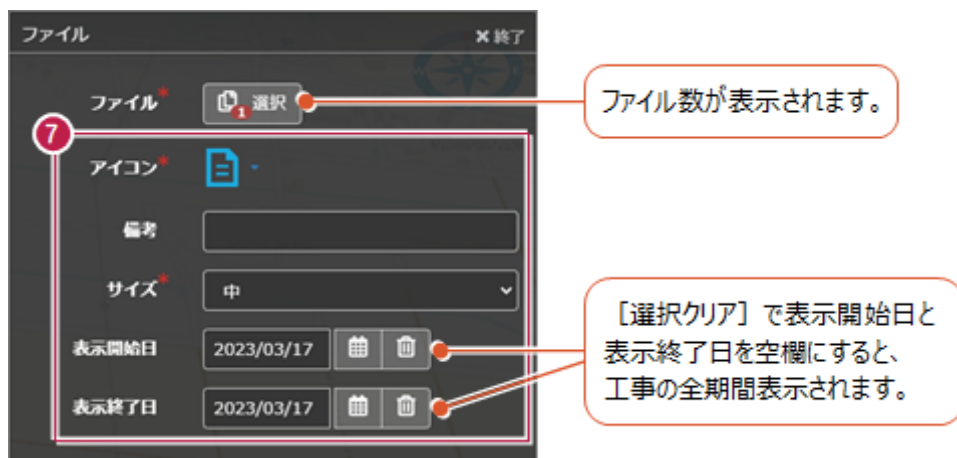
5. [選択] をクリックします。



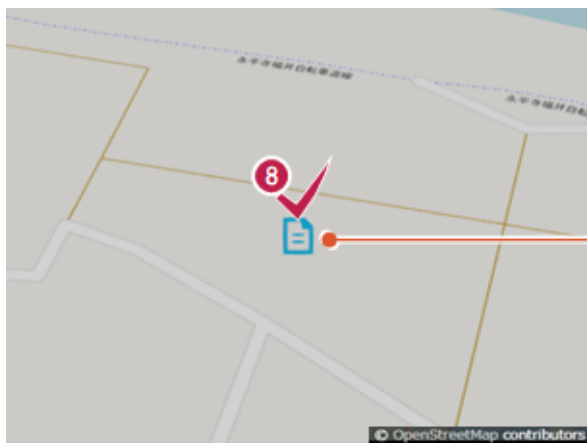
6. [確定] をクリックします。



7. [アイコン] [備考] [サイズ] [表示開始日] [表示終了日] を設定します。
(*は入力必須項目です。)

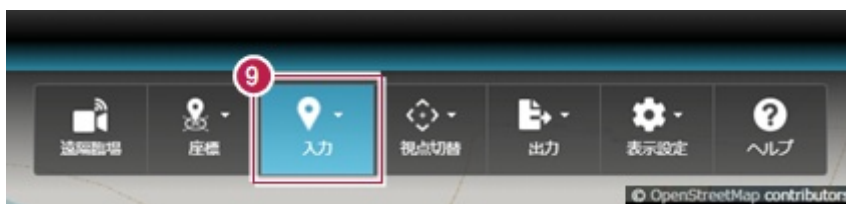


8. ファイルマークの配置位置をクリックします。
ファイルマークが配置されます。



マーカーや図面線上にスナップすることもできます。
スナップの詳細は、「スナップについて」を参照してください。

9. [入力] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



《補足》 [共有] フォルダーと [図面] フォルダーの切り替えについて

[選択対象ファイル一覧] で、[共有] フォルダーと [図面] フォルダーの切り替えができます。

選択したフォルダーに登録されているファイルが一覧に表示されます。



《補足》 ファイルを専用ビューアで確認する

画像、動画、PDF、Office、図面ファイルをダブルクリックすると専用ビューアが起動します。

画像、動画、PDFビューアの詳細は、「[画像・動画・PDFビューア](#)」を参照してください。

パノラマビューアの詳細は、「[パノラマビューア](#)」を参照してください。

Officeビューアの詳細は、「[Officeビューア](#)」を参照してください。

図面ビューアの詳細は、「[図面ビューア](#)」を参照してください。

※図面ビューアを起動する場合は、ファイル管理で「処理状況」が「完了」になっている必要があります。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】 注釈-動画を配置する

2023年5月29日更新

現場ビューアに注釈（動画マーク）を配置します。

マークに関連付いた動画をいつ・どこから撮影したかなどの情報と共に、地図上で共有できます。

動画ファイル（拡張子「mp4」「webm」）をファイル管理の［共有］フォルダーに登録後、操作してください。

1. [入力] をクリックします。

2. [動画] をクリックします。



3. [動画] の [動画選択] をクリックします。

動画

× 終了

動画*

色* ■

備考

サイズ* 中

表示開始日

表示終了日

戻る

4. 注釈として配置する動画を選択します。

5. [確定] をクリックします。

動画選択

戻る 印刷 表示設定 ヘルプ

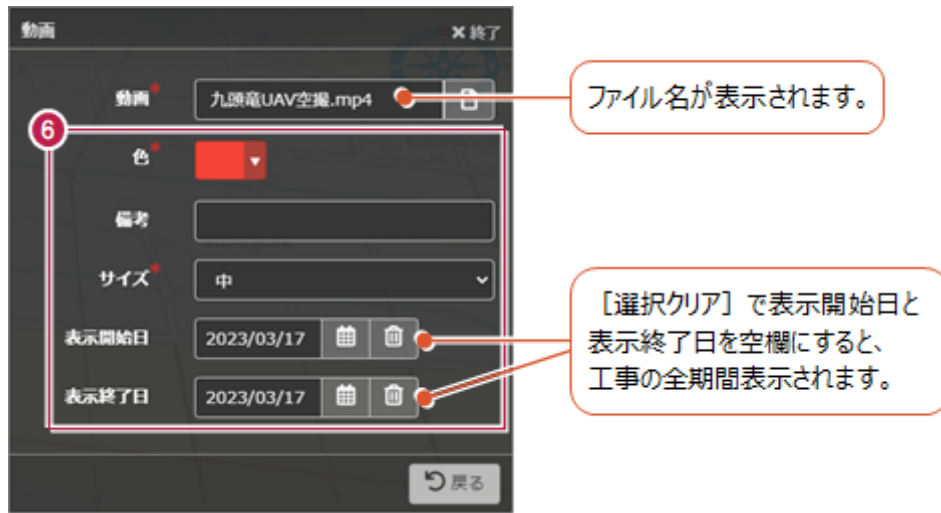
×

ファイル名	登録日時
④ 九頭竜UAV空撮2.mp4	2023/03/17 17:38:06
九頭竜UAV空撮.mp4	2023/03/17 17:38:02

【ビューア】をクリックすると、動画ビューアが起動します。
動画ビューアの詳細は、「画像・動画・PDFビューア」を参照してください。

5 確定

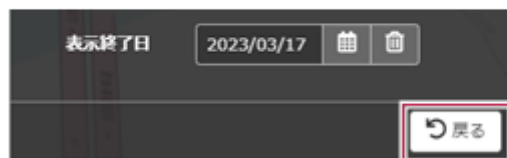
6. [色] [備考] [サイズ] [表示開始日] [表示終了日] を設定します。
(*は入力必須項目です。)



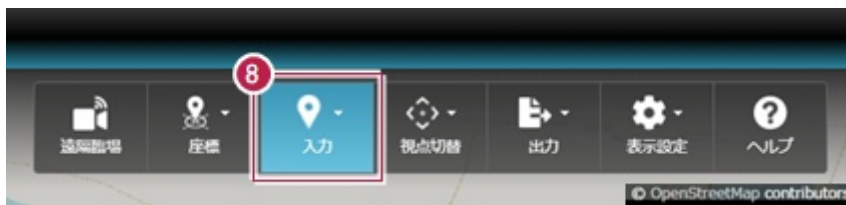
7. 動画の撮影箇所、向きを順にクリックします。
動画マークが配置されます。



- ・マーカーや図面線上にスナップすることもできます。スナップの詳細は、「スナップについて」を参照してください。
- ・撮影箇所のクリック位置を間違えた場合は、〔戻る〕をクリックして指定し直してください。



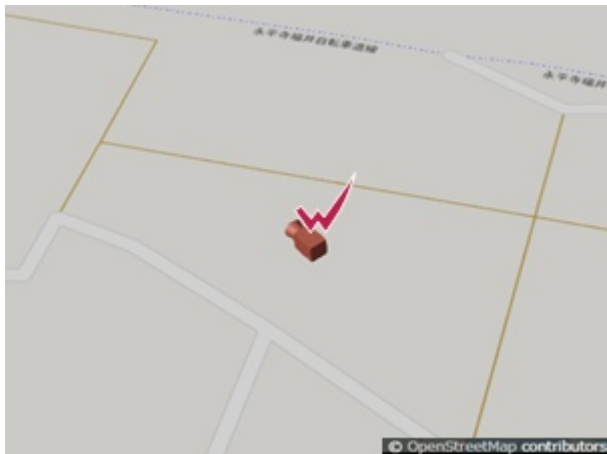
8. 〔入力〕をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



※配置した動画マークをダブルクリックすると動画ビューアが起動します。
動画ビューアの詳細は、「[画像・動画・PDFビューア](#)」を参照してください。



| 作成者－現場ビューア |

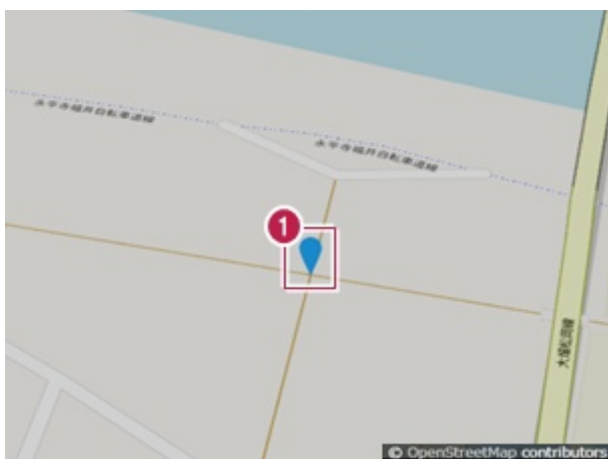
【作成者】計測や注釈を編集する

2023年5月29日更新

現場ビューアに配置されている計測や注釈（マーカー、テキスト、ファイル、動画）を編集します。

※全てのコマンドが終了している状態で操作してください。

1. 計測や注釈をクリックします。



2. [編集] をクリックします。



動画の場合、[ビュー] をクリックすると動画ビューが起動します。
動画ビューの詳細は、「画像・動画・PDFビュー」を参照してください。



3. 設定を編集します。

4. [保存] をクリックします。
設定が反映されます。

マーカー

アイコン

備考 工事基準点

サイズ 中

表示開始日 2023/03/17

表示終了日 2023/03/17

座標値 (数字系)

X座標 24854.153 m

Y座標 11065.397 m

Z座標

キャンセル 保存

5. [閉じる] をクリックします。

マーカー

編集 削除

アイコン

備考 工事基準点

サイズ 中

表示期間 2023/03/17 ~ 2023/03/17

座標値

X座標 24854.153 m

Y座標 11065.397 m

Z座標

最終更新者 福井 太郎

最終更新日時 2023/03/20 10:13:39

《補足》注釈を移動する

全てのコマンドが終了している状態で注釈をクリックすると、トラッカーが表示されます。

トラッカーをドラッグすると、移動できます。



全てのコマンドが終了している状態で動画アイコンをクリックすると、回転トラッカーが表示されます。

回転トラッカーをドラッグすると、動画アイコンの向きを変更できます。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】計測や注釈を削除する

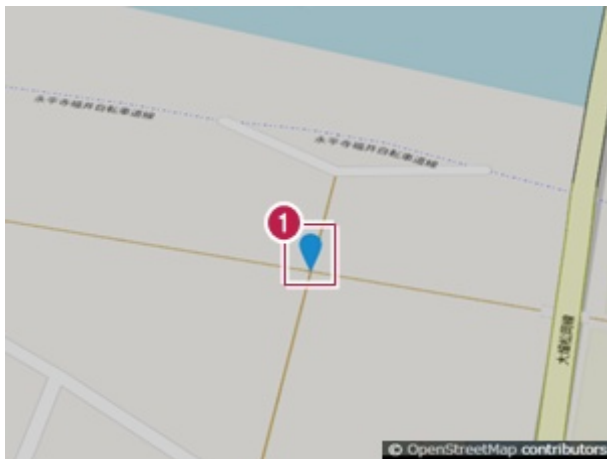
2023年5月29日公開

現場ビューアに配置されている計測や注釈（マーカー、テキスト、ファイル、動画）を削除します。

※全てのコマンドが終了している状態で操作してください。

※削除せず一時的に非表示にする場合は、「[【作成者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える](#)」を参照してください。

1. 計測や注釈をクリックします。



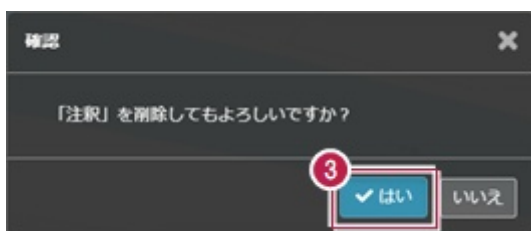
2. [削除] をクリックします。



動画の場合、[ビュー] をクリックすると動画ビューが起動します。
動画ビューの詳細は、「画像・動画・PDFビュー」を参照してください。



3. [はい] をクリックします。
計測や注釈が削除されます。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】 管理断面を確認する（3D）

2023年5月29日更新

管理断面を確認します。

設計データを登録後に操作してください。

1. [施工] をクリックします。
2. [管理断面] をクリックします。



3. 横断線をクリックします。
画面下に断面が表示されます。



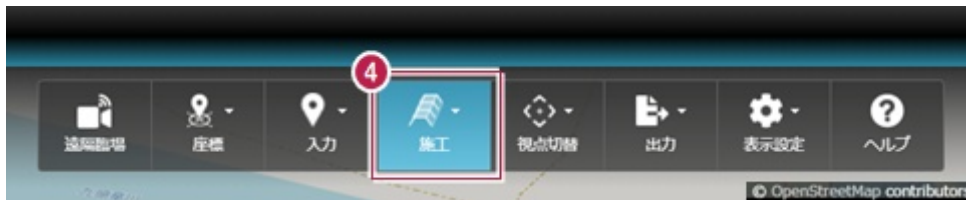
【DXF出力】

断面形状図面をDXF形式で保存します。
(断面線とCL線が出力されます。寸法線などは出力されません。)

【表示切替】

設計（白色）、現況（オレンジ色）、その他点群（緑色）の表示/非表示を切り替えます。

4. [施工] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



| 【作成者】現場ビューア |

【作成者】任意断面を確認する（3D）

2024年3月19日更新

任意断面を確認します。

設計データを登録後に操作してください。

※基本設計データは対象外です。

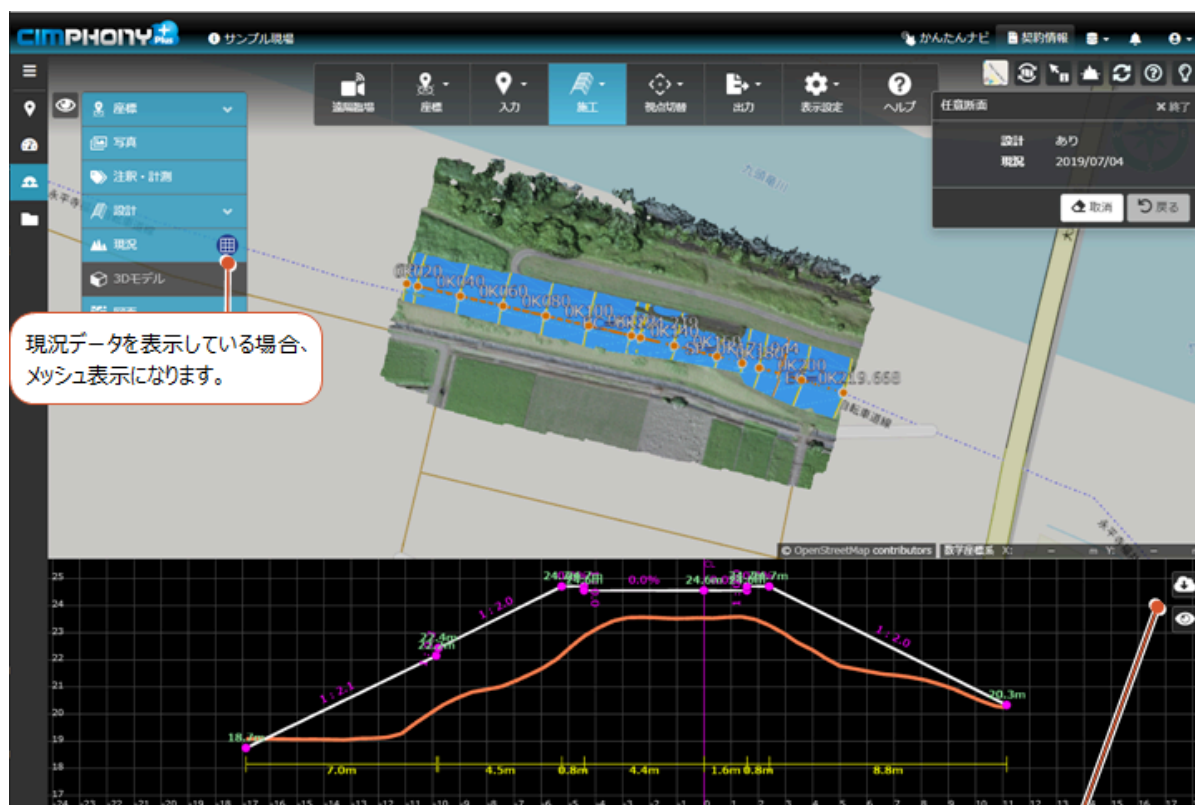
1. [施工] をクリックします。

2. [任意断面] をクリックします。



3. 開始点、終了点を順にクリックします。

画面下に断面が表示されます。



【DXF出力】

断面形状図面をDXF形式で保存します。
(断面線とCL線が出力されます。寸法線などは出力されません。)

【表示切替】

設計（白色）、現況（オレンジ色）、その他点群（緑色）の表示/非表示を切り替えます。

4. [施工] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。



| 【作成者】現場ビューア |

【作成者】現況データを比較する（3D）

2024年3月19日更新

現況データと設計データを比較し、違いを標高差モデルとして表示します。

2つの現況データを比較することもできます。

ここでは、進捗計算用の点群データと設計データを比較します。

設計データと点群データを登録後に操作してください。

1. [施工] をクリックします。
2. [データ比較] をクリックします。



3. [比較元選択] をクリックします。



4.比較元のデータを選択します。

ここでは、「現況（進捗計算対象の点群）」の「カレンダーから選択」をクリックします。

※比較データ選択ダイアログの詳細は、補足「[比較データ選択ダイアログについて](#)」を参照してください。

5.現況日をクリックします。

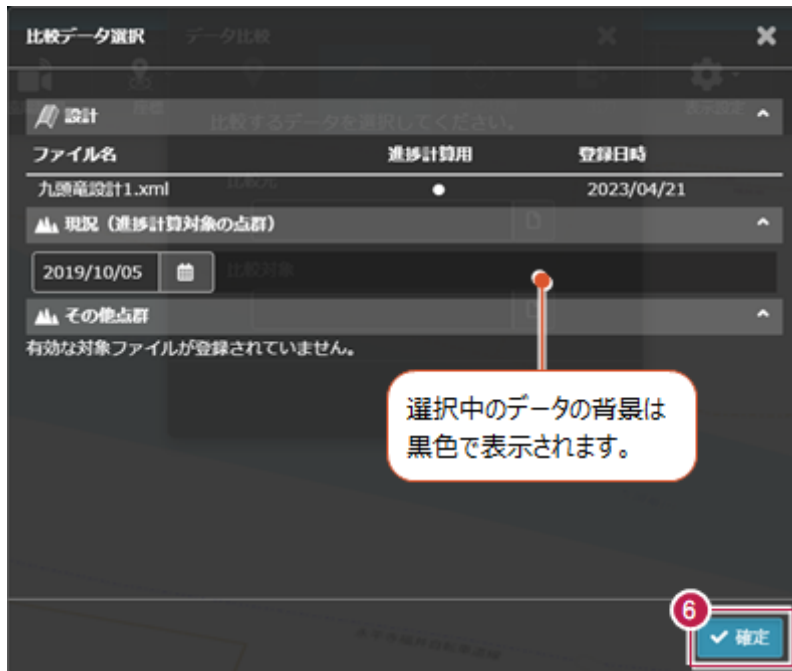


現況日をカレンダーから選択する場合

進捗計算用点群データの測量日がオレンジ色で表示されます。
点群の表示期間から日付を選択してください。



6. [確定] をクリックします。



7. [比較対象選択] をクリックします。



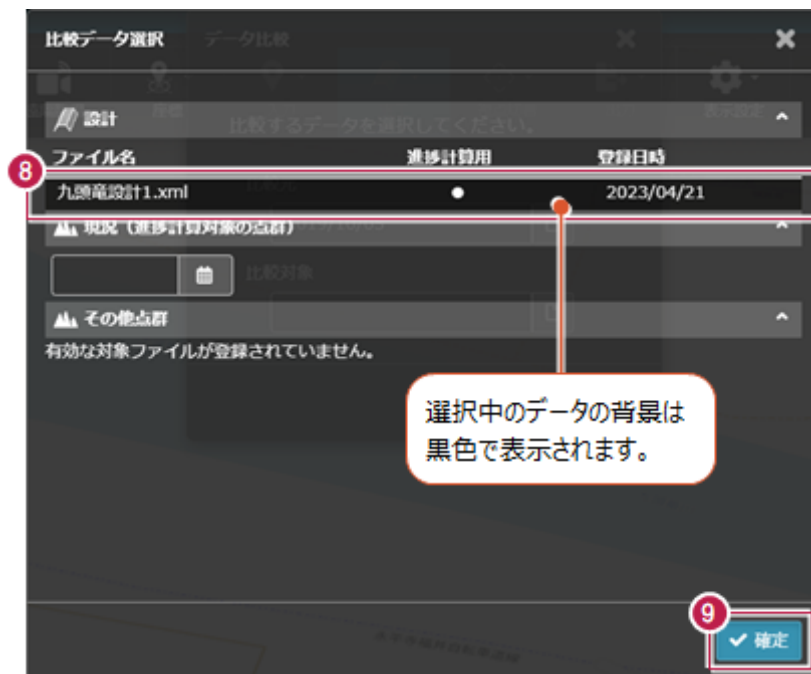
8. 比較対象のデータを選択します。

ここでは、[設計] のデータを選択します。

※比較元と異なるデータを選択してください。

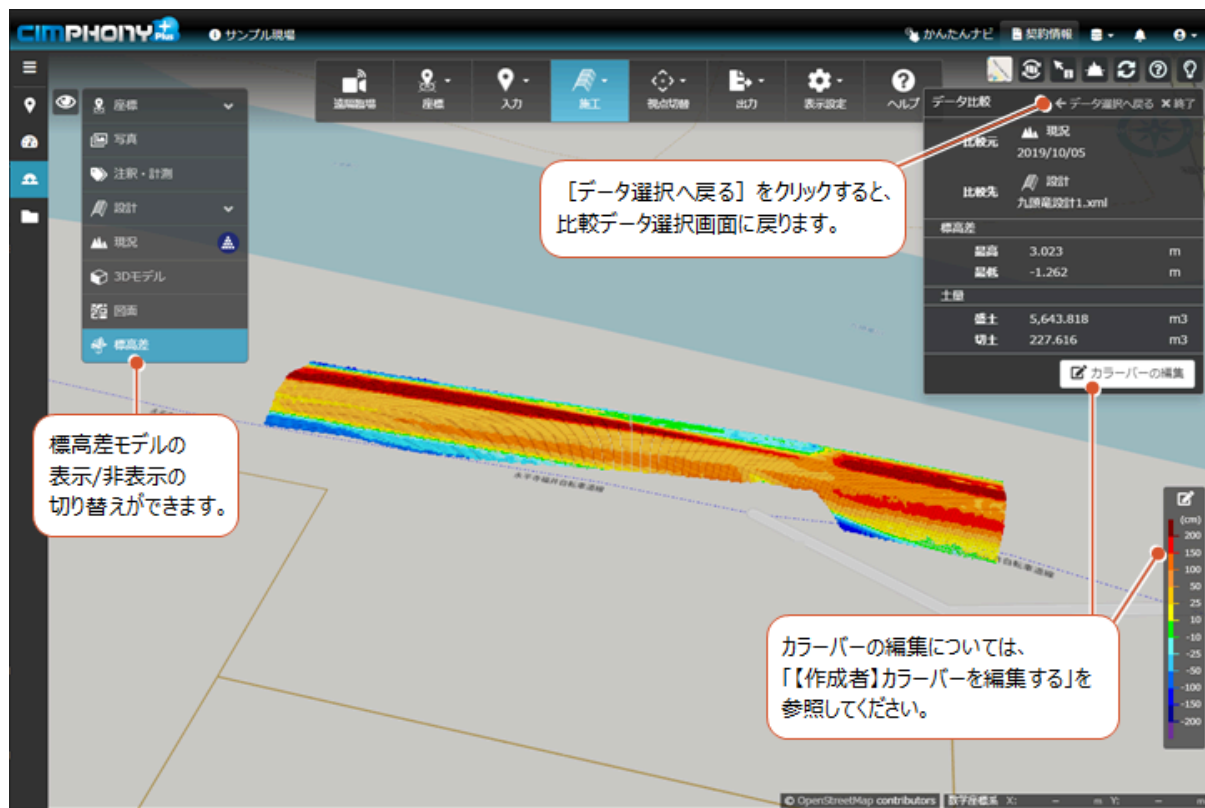
※比較データ選択ダイアログの詳細は、補足「[比較データ選択ダイアログについて](#)」を参照してください。

9. [確定] をクリックします。



10. [OK] をクリックします。
標高差モデルや比較データが表示されます。

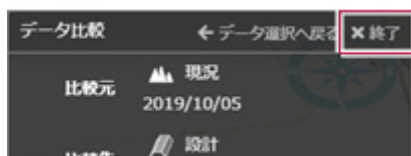




11. 「施工」をクリックしてコマンドを終了します。



※ 「終了」をクリックしてコマンドを終了することもできます。



《3D補足》 比較データ選択ダイアログについて

比較するデータを1つ選択してください。



【設計】

設計データ（LandXML）を選択します。

※進捗計算対象外データも選択できますが、2023年5月28日以前に登録した進捗計算対象外データは表示されません。

比較対象とする場合は登録し直してください。

※基本設計データは対象外です。

【現況（進捗計算対象の点群）】

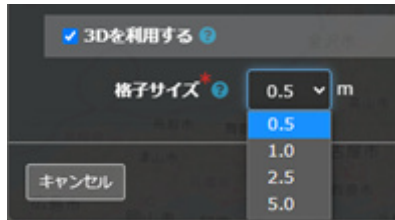
【進捗計算】が【使用する】になっている点群データをカレンダーから選択します。

【その他点群】

【進捗計算】が【使用しない】になっている点群データを選択します。

《3D補足》土量値の計算について

- ・4点平均標高法で計算しています。
- ・現場作成時に設定した格子サイズのメッシュから計算しています。

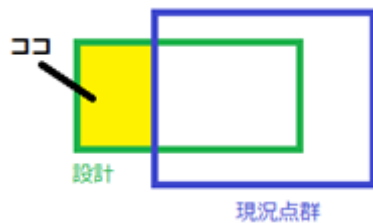


《3D補足》 比較範囲について

■設計データがある場合

設計データの範囲のみ比較します。（設計範囲＝比較範囲という考え方）

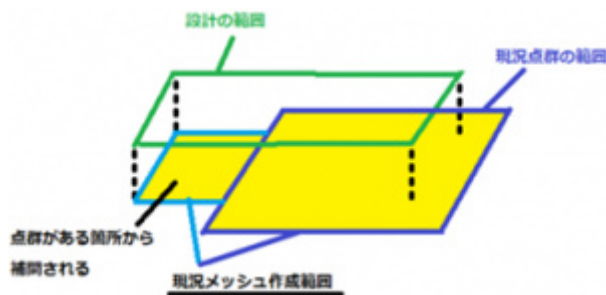
設計データの範囲に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、



設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が比較範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできても、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群を用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

■設計データがない場合

現況データ全体の範囲（現況メッシュデータの範囲）を比較します。

《3D補足》標高差ヒートマップの格子数が300万を超える場合

ヒートマップの格子数が300万を超える場合は、現場の面積が広すぎるため、比較できません。

現場情報の格子サイズを大きくするか、データを分割してそれぞれ別の現場として管理してください。

※格子サイズを変更しても点群がエラーのままの場合は、点群ファイルを再登録してください。

| 作成者－現場ビューア |

【作成者】土量進捗を確認する（3D）

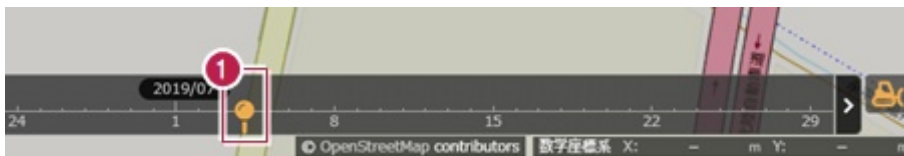
2023年5月29日更新

土量進捗をヒートマップで確認します。

設計データと点群データを登録後に操作してください。

※土量進捗に使用する設計データと点群データの「進捗計算」は「使用する」に設定してください。

1. タイムラインで初回測量日以降の日付を選択します。



2. 「施工」をクリックします。

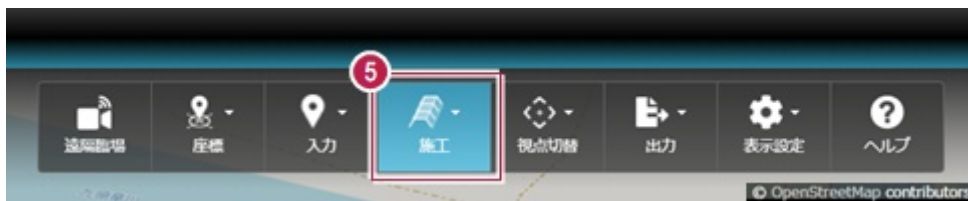
3. 「土量進捗」をクリックします。



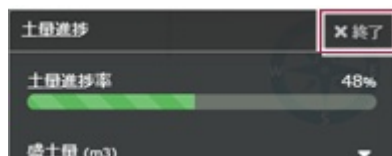
4. タイムラインの日付を変更して、土量進捗を確認します。



5. 「施工」をクリックしてコマンドを終了します。

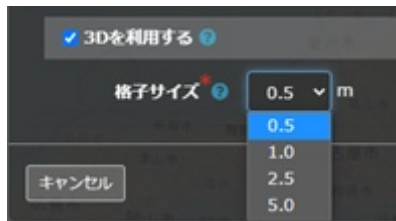


※ 「終了」をクリックしてコマンドを終了することもできます。



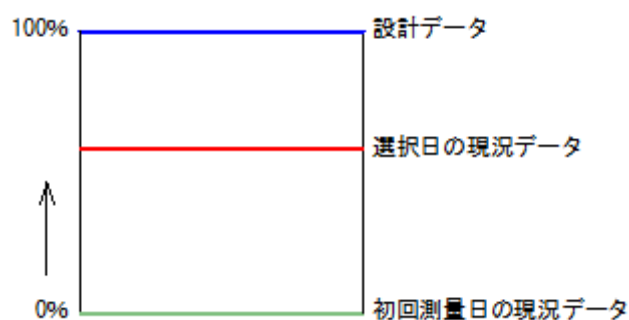
《3D補足》土量値の計算について

- ・ 4点平均標高法で計算しています。
- ・ 現場作成時に設定した格子サイズのメッシュから計算しています。



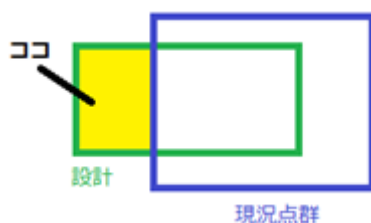
《3D補足》土量進捗率について

土量進捗率は、初回測量日を0%、設計データを100%として計算されます。



《3D補足》評価範囲について

設計データの範囲のみ評価します。（設計範囲＝評価範囲という考え方）
設計データの範囲に「初回現況点群データが存在しない部分」がある場合、

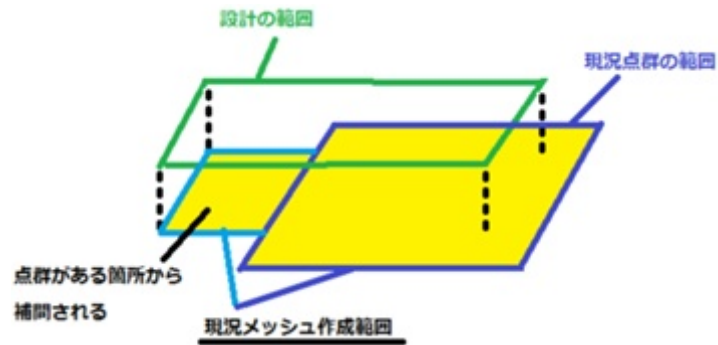


設計データの範囲（「現況点群データが存在しない部分」も含めて）が評価範囲となります。

また、現況点群が存在しない箇所は、現況メッシュ作成時に「補間」されます。

「補間」は近くの点群の標高をコピーするだけなので、穴埋め程度はできて

も、下図のように広い範囲を補間した場合は、期待した比較結果になりません。



設計範囲全体をカバーする初回現況点群を用意するか、設計データを現況の範囲で作成してください。

| 作成者－現場ビューア |

【作成者】カラーバーを編集する（3D）

2023年5月29日更新

〔施工〕－〔現況比較〕〔土量進捗〕で表示されるカラーバーを編集します。
ここでは、〔現況比較〕のカラーバーを例に説明します。
（〔土量進捗〕のカラーバーも同様の手順で編集してください。）

1.ダイアログの〔カラーバーの編集〕をクリックします。



2. 〔追加〕をクリックします。



3. [標高差] を入力します。

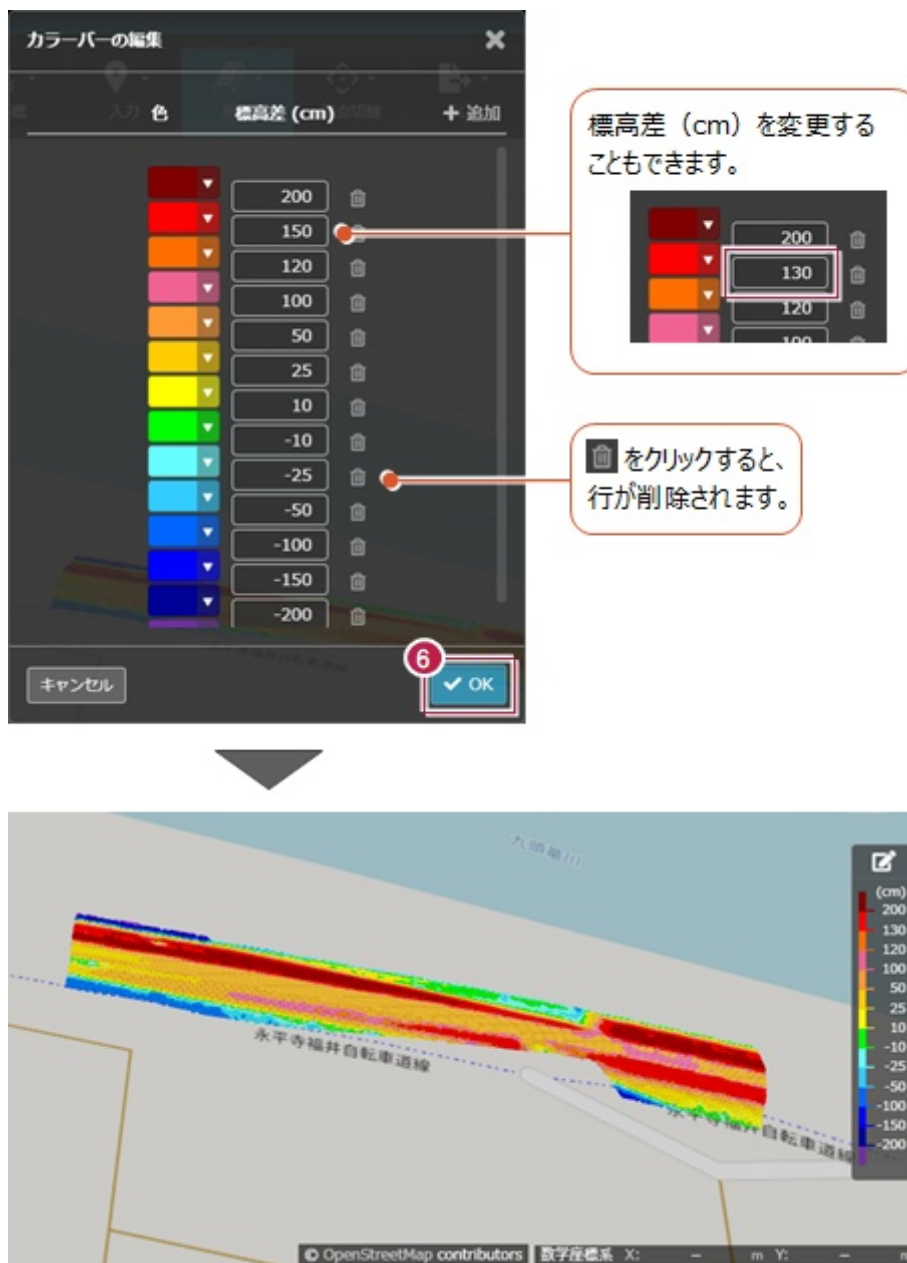
4. [OK] をクリックします。



5. [色] を選択します。



6. [OK] をクリックします。
現場ビューアに反映されます。



| 作成者－現場ビューア |

【作成者】視点を切り替える

2023年5月29日更新

現場ビューアの視点を切り替えます。
視点を登録することもできます。

目次

- ・ 視点を切り替える
- ・ 視点を登録する

視点を切り替える

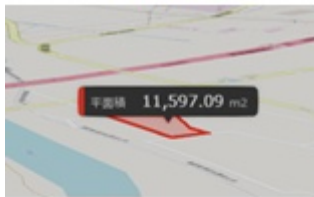
1. [視点切替] をクリックします。
2. 方向を選択します。
各方向から眺めるような視点到切り替わります。



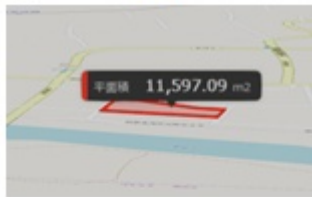
【初期】



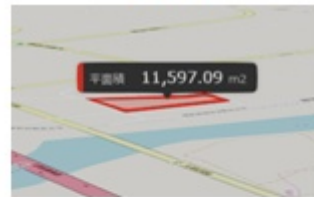
【北西】



【北】



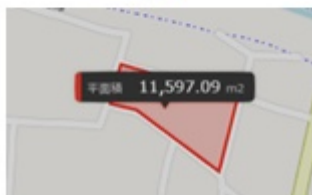
【北東】



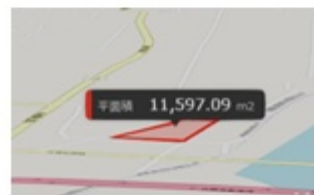
【西】



【上】



【東】



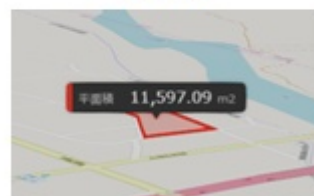
【南西】



【南】



【南東】



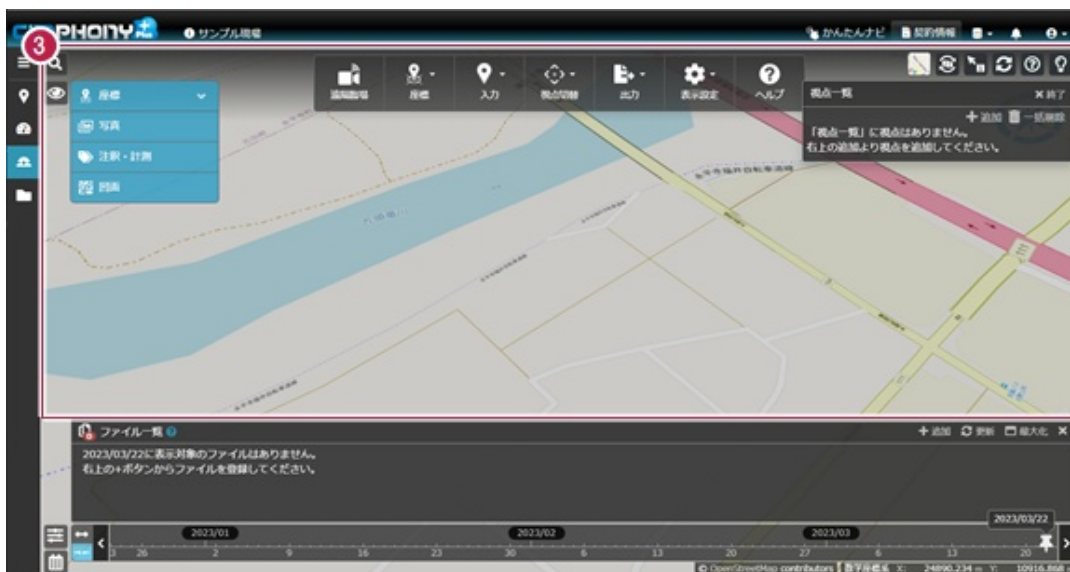
視点を登録する

1. [視点切替] をクリックします。

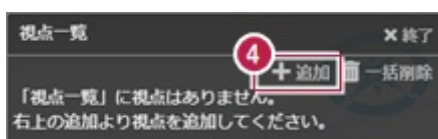
2. [視点一覧] をクリックします。



3. 現場ビューアで視点を調整します。



4. [追加] をクリックします。



5. [名称] を入力します。

6. [追加] をクリックします。

視点が登録されます。



7. [終了] をクリックしてダイアログを閉じます。



登録した視点をクリックすると、
視点が切り替わります。

《補足》登録した視点を編集、削除する



ドラッグすると、
並び順を変更できます。

[一括削除]

チェックをオンにした視点を一括削除します。



【編集】

視点の名称を編集します。



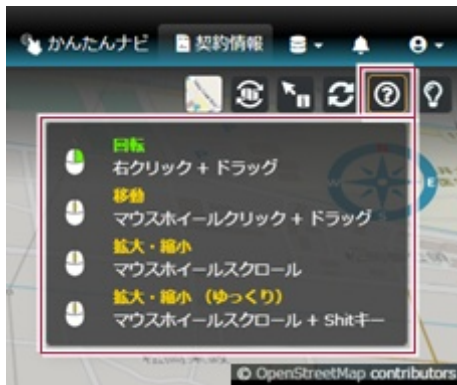
【削除】

視点を削除します。

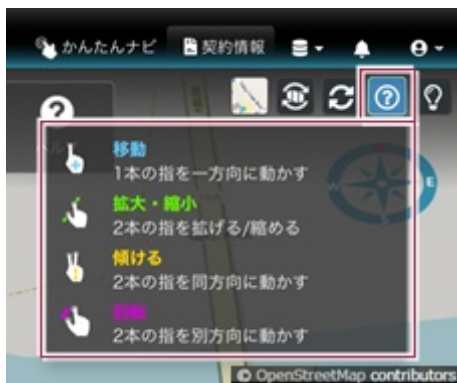
《補足》画面の回転・移動・拡大について

PCの場合は、マウス右ボタンドラッグで回転、マウスホイールドラッグで移動、マウスホイールを奥に転がして拡大できます。

画面の操作方法は、画面右上の「操作ヘルプ」を確認してください。



タブレット端末の場合は、1本指を動かして移動、2本指を広げて拡大、2本指を同じ方向に動かして傾ける、2本指を別方向に動かして回転できます。
画面の操作方法は、画面右上の「操作ヘルプ」を確認してください。



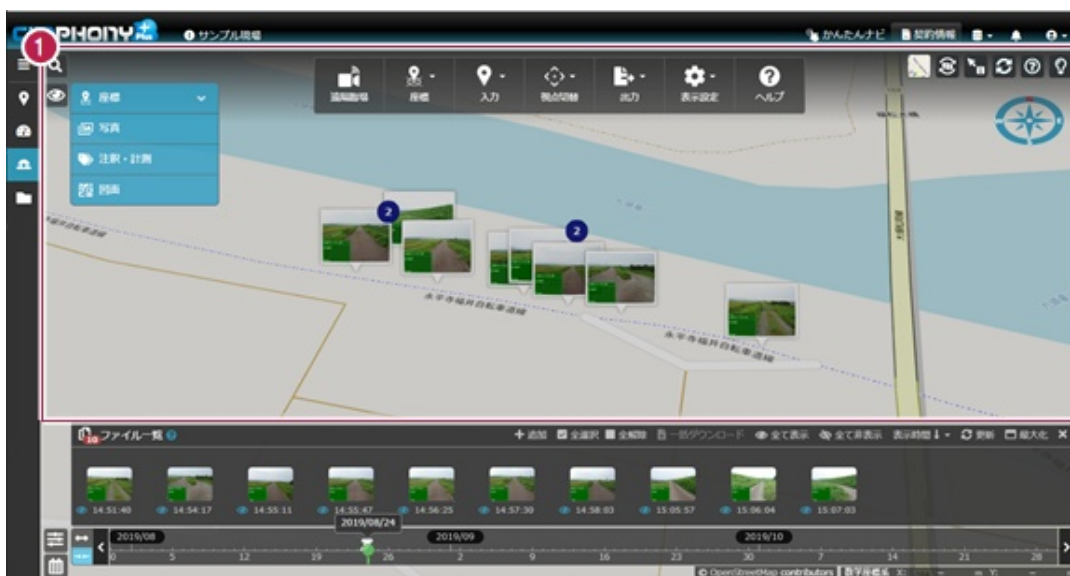
| 作成者－現場ビューア |

【作成者】現場ビューアの画像を出力する

2023年5月29日更新

現場ビューア画面を画像として出力します。

1.現場ビューアで視点を調整します。



2. [出力] をクリックします。

3. [画像出力] をクリックします。

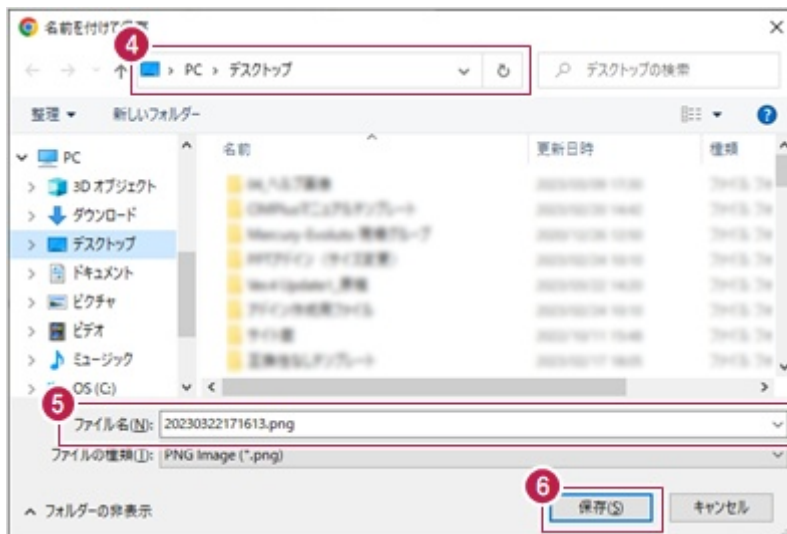


4.保存先を指定します。

5. [ファイル名] を入力します。

6. [保存] をクリックします。

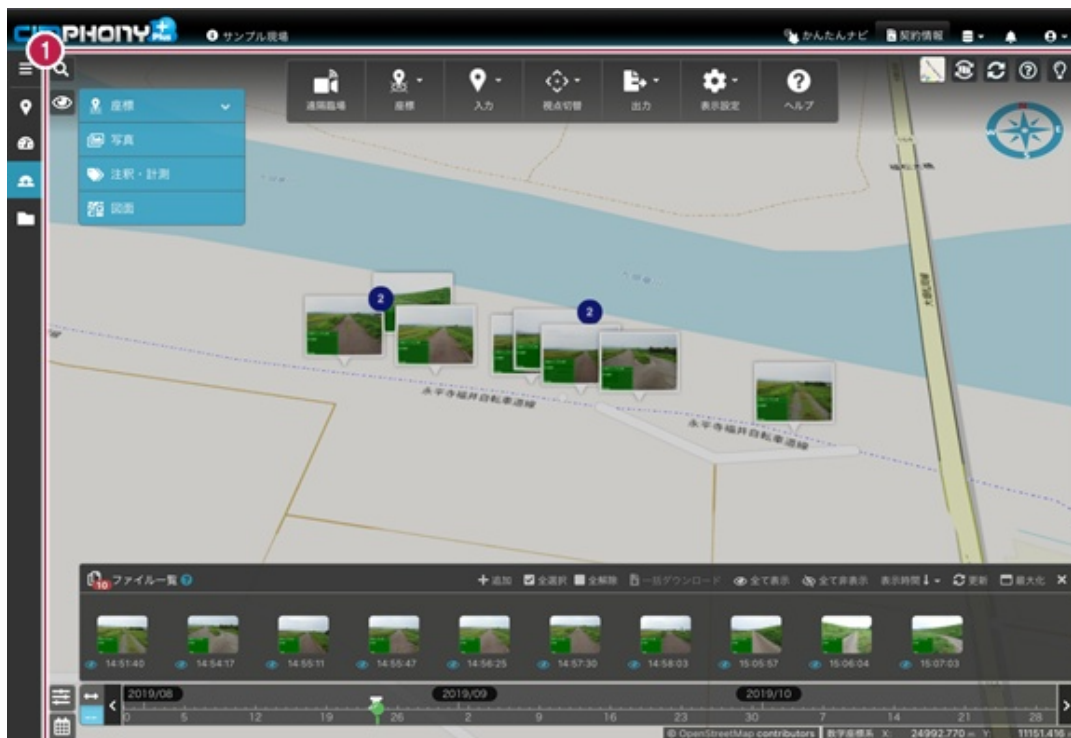
PNG形式の画像ファイルが保存されます。



《補足》 タブレット端末で現場ビューアの画像を出力する

タブレット端末によって、画像出力の操作が異なります。
ここでは、iPadブラウザ [Safari] を例に操作を説明します。

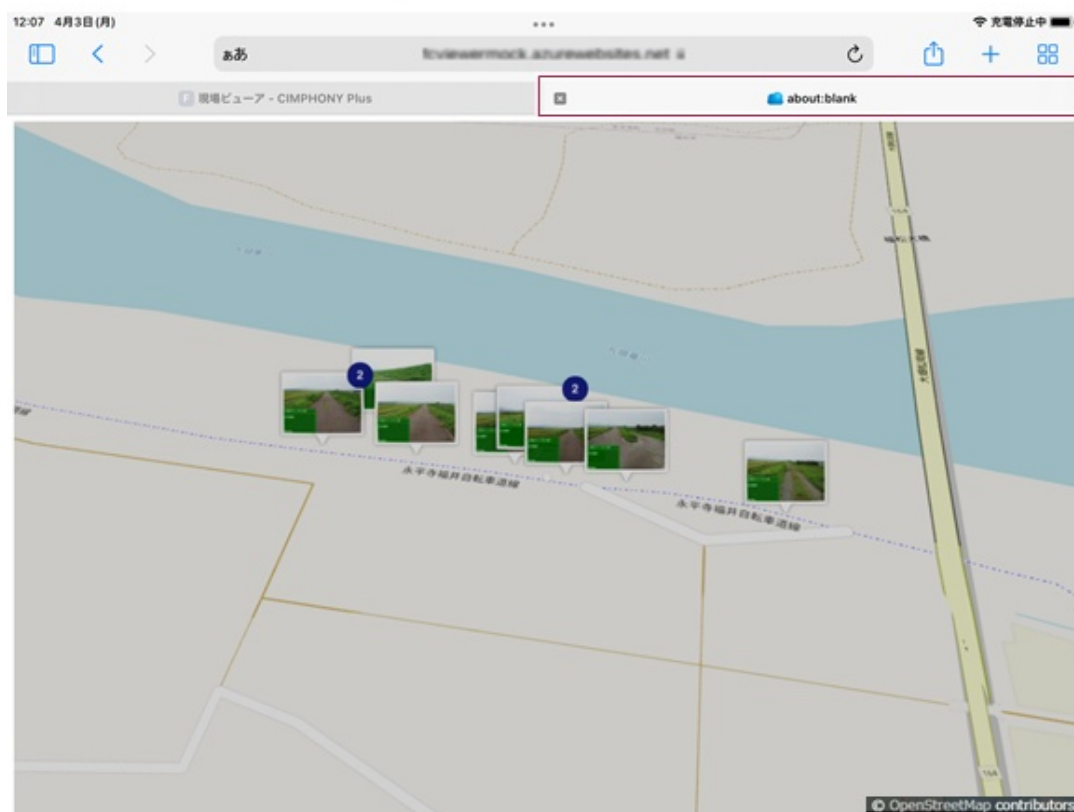
1.現場ビューアで視点を調整します。



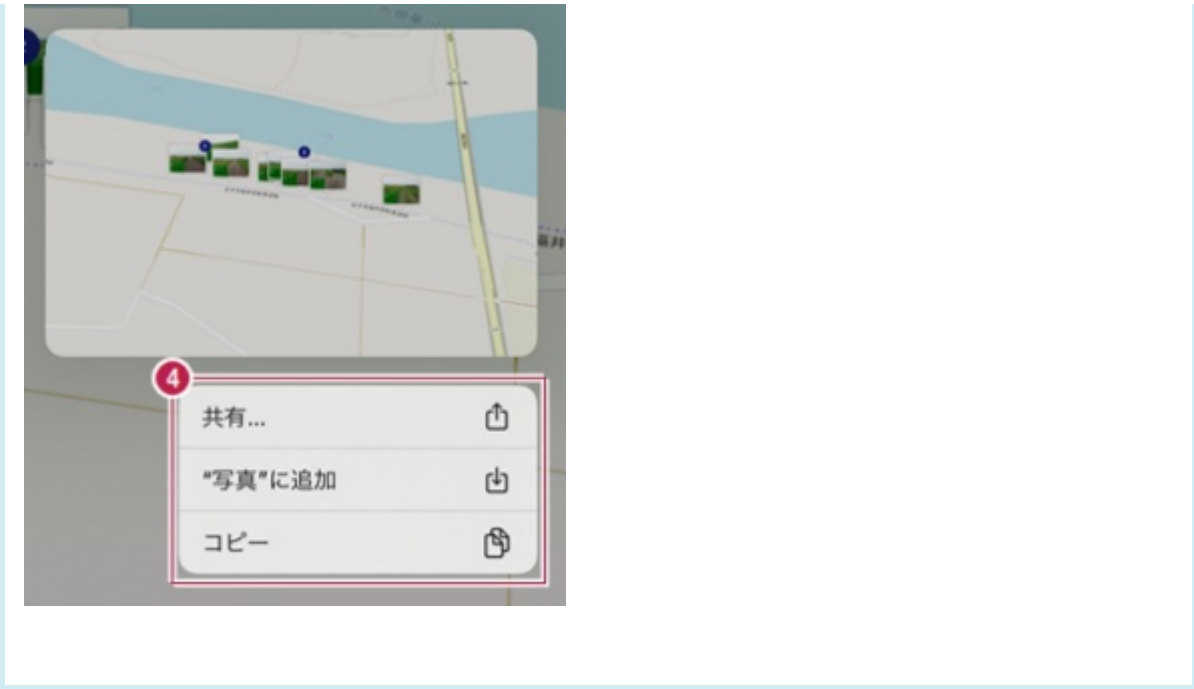
2. 「出力」 をタップします。

3. 「画像出力」 をタップします。

ブラウザの別ページに出カイメージが表示されます。



4.画面を長押しして保存します。



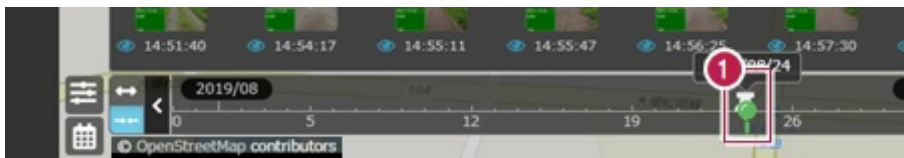
| 作成者－現場ビューア |

【作成者】現場共有URLを発行する

2023年5月29日更新

CIMPHONY Plusのアカウントをお持ちでない方や現場参加者以外の方に期間限定で現場ビューアを公開するURLを発行します。

1. タイムラインで公開する日付を選択します。



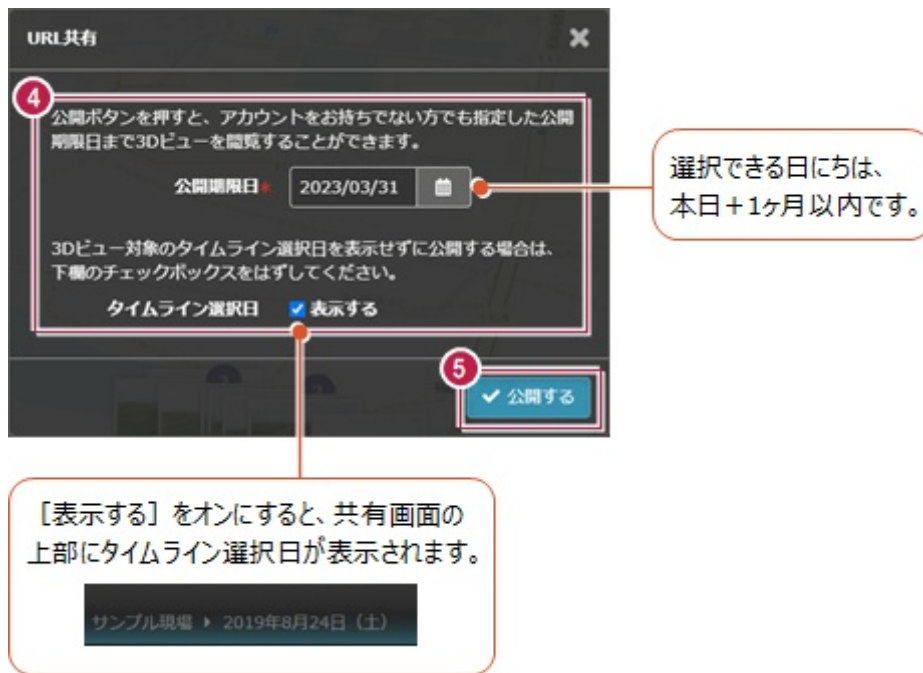
2. [出力] をクリックします。

3. [URL共有] をクリックします。

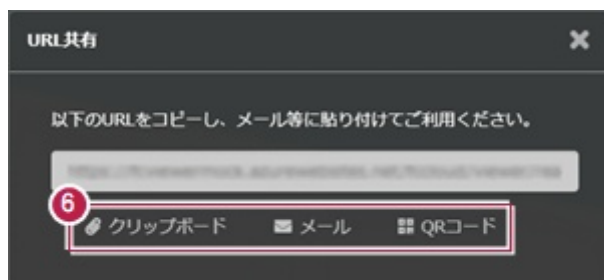


4. [公開期限日] [タイムライン選択日] を設定します。

5. [公開する] をクリックします。



6. 公開方法を選択します。



【クリップボード】

クリップボードにURLがコピーされます。
任意の場所にURLを貼り付ける場合に使用します。

【メール】

PCのメーラーが起動します。
メールでURLを送信する場合に使用します。

【QRコード】

QRコードの画像ファイルが出力されます。

スマートフォンやタブレットでQRコードを読み取ると閲覧できます。

《補足》URLで公開した現場ビューアの制限

URL先の現場ビューアでは以下の制限があります。

- ・ URL共有したタイムラインの日付のみ閲覧できます。
- ・ 検索条件を設定した場合、絞り込まれた結果が閲覧できます。
- ・ データのアップロード、ダウンロードはできません。
- ・ 画像、動画、PDF、Officeビューアが閲覧可能です。
※パノラマビューアなど、その他ビューアは対象外です。
- ・ 現場ビューアで使用可能な機能は以下の通りです。

座標、写真、注釈・計測、図面の表示切替

座標管理の確認・表示設定

入力ー計測（距離・面積）

※一時的に配置できますが、データの登録は行われません。

視点切替

図面表示の設定

地図・地形切替

背景表示切替

写真、注釈・計測の情報確認

- ・ **3D現場の場合**、現場ビューアで使用可能な機能は以下の通りです。

同上

設計、現況、3Dモデルの表示切替

管理断面・任意断面の確認

土量進捗の確認

点群表示の設定

地中のデータ表示/非表示

※体積計測はできません。

| 作成者－現場ビューア |

【作成者】点群の表示設定を行う（3D）

2023年5月29日更新

点群の点密度、点サイズ、陰影表示を設定します。

1. [表示設定] をクリックします。
2. [点群表示] をクリックします。



3. [点密度] [点サイズ] [陰影表示] を設定します。
4. [確定] をクリックします。
現場ビューアの点群に設定が反映されます。



【点密度】

点群の表示密度を設定します。

【密】であるほど点群はきれいに表示されますが、パフォーマンスは低下します。

【粗】であるほど点群は粗く表示されますが、パフォーマンスは向上します。

【点サイズ】

点のサイズを設定します。

点群が粗い場合は、大きくすることで隙間を埋めて表示されます。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【拡大率による自動調整】

オンにすると、ビューの拡大率によって点のサイズを自動調整します。

縮小したときは点サイズが小さく、拡大したときは点サイズが大きくなります。

【陰影表示】

陰影表示のオン・オフと強弱を設定します。

オンにするとパフォーマンスが低下します。

※これらの設定は全現場に適用されます。

ただし、ユーザーアカウントごとの設定であるため、他のユーザーとは共有されません。

| 作成者 - 現場ビューア |

【作成者】 図面の表示設定を行う

2023年5月29日更新

図面の濃淡、表示位置を設定します。

1. [表示設定] をクリックします。
2. [図面表示] をクリックします。



3.濃淡、表示位置を設定します。

4. [確定] をクリックします。
現場ビューアの図面に設定が反映されます。



【濃淡】

図面の濃淡を設定します。

【最前面に表示する】

最前面表示のオンオフを設定します。

オンにすると常に手前に表示され、オフにすると奥行きが考慮されます。

※これらの設定は全現場に適用されます。

ただし、ユーザーアカウントごとの設定であるため、他のユーザーとは共有されません。

| 作成者－現場ビューア |

【作成者】3Dデータの標高を補正する（3D）

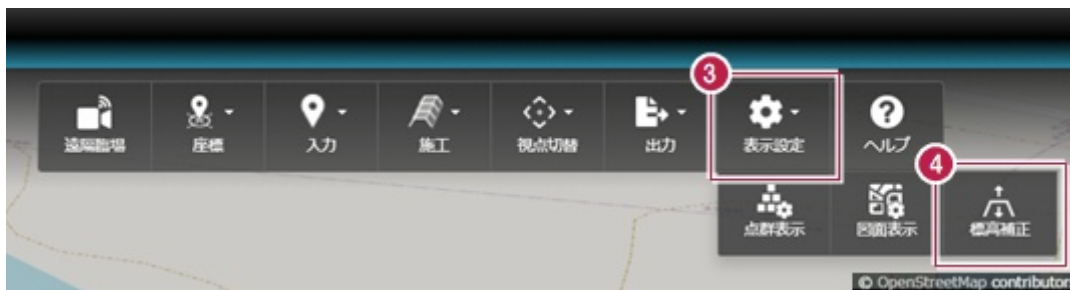
2023年5月29日更新

座標点、設計データ、現況データ、3Dモデルデータ、図面データの標高を補正します。

- 1.画面右上の地図のアイコンをクリックします。
2. [地形] で [国土地理院標高タイル]（10mまたは5m）を選択します。



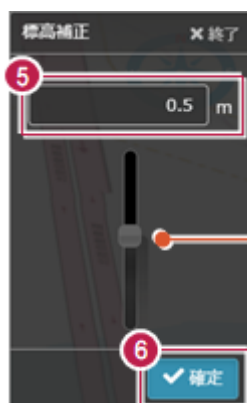
3. [表示設定] をクリックします。
4. [標高補正] をクリックします。



5. [標高補正值] を入力します。

6. [確定] をクリックします。

3Dデータの標高が変更されます。



スライダーをドラッグして移動すると、ビューを確認しながら標高を補正できます。
スライダーの補正範囲は「-10.0」から「10.0」ですが、
[標高補正值] には「-9999.9」から「9999.9」を入力できます。

| 作成者－現場ビューア |

【作成者】地中のデータの表示/非表示を切り替える（3D）

2023年5月29日更新

地中のデータの表示/非表示を切り替えます。

1. [地中のデータ表示/非表示] をクリックして、表示/非表示を切り替えます。



表示オンの場合

地図より下のデータも表示されます。



表示オフの場合

地図より下のデータは表示されません。

